大正九年十月二十四日 第三種郵便物認可

昭和十二年一月九日　新京日日新聞　（土曜日）　第五千十三號　（一）

新京日日新聞

夕刊　一月八日

本紙定價 一部五錢 一ヶ月壹圓
廣告料金 普通一行 壹圓五拾錢 特別一行 貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯局專用(3)二三二五 營業局專用(3)三三〇〇
發行人 河本肇 編輯人 印刷人 水越內之介

二重橋前に展開の陸軍始觀兵式の盛觀

"君ケ代"の曲大内山にこだまして 十七年振りの歡喜

【東京國通】昭和十二年軍國の新春をかざる陸軍始觀兵式は八日午前畏くも大元帥陛下の親臨を仰ぎ奉り、聚彌増す大内山のほとり、二重橋前廣場でいとも壯嚴に擧行された

×

參加皇軍一萬一千、空軍新鋭機七十は十七歳振りの宮城前觀兵式に士氣はいや増しに上つて、錦旗燦然と輝く御前に堂々近代皇軍の威容を遺憾なく發揮した、この日東北の微風天氣よく未曾有の盛儀を拜觀せんとする民草は、前夜來から式場附近に詰めかけ、入場許可と同時にドッと繰り込んで、午前九時半には早くも楠公銅像傍と元帝室林野局の二箇所の陪觀席は定員一萬五千名を埋めつくして、場外には、なほ去りやらぬ數萬の市民が溢れた

×

晴れの觀兵式に參加する近衛第十四在京派遣部隊、河村部隊留守隊等の精鋭は諸兵指揮官岩越恒一中將指揮のもとに午前九時半には式場の周邊に肅然林の如く整列、各閣僚以下外國大公使、武官、陸軍諸學校傷痍軍人、在郷軍人將校家族等特別陪覽者八千名も威儀を正して陛下の御着を御待申上げる、午前十時大元帥陛下には陸軍樣式御正裝に大勳位菊花章頸飾功一級金鵄勳章本綬以下數多の勳章を御佩用金色眩ゆきばかりの御威容にて畏くも御愛馬に召され宮城御車寄を發御遊ばされた、仰げば錦旗燦として御召しの白馬は悠揚二重橋正門を出で給ふ御歯轡はまこと神々しき極みである

×

かくて陛下には「君ケ代」の喇叭劉喨と大内山にこだまして響き渡るうち十時三分式場御着、岩越諸兵指揮官の奏上を受けさせられ、直ちに御閲兵を開始遊ばされた

×

坂下門外の近歩一旅團を始め錦旗の進ませ給ふところ步、工、電信、野戰重砲、騎兵、輜重各隊は一齊に捧銃捧刀の敬禮をし奉り滿場水を打つたやうな靜けさのうちに順次に湧き起る君ケ代の喇叭もいと莊重に御閲兵の儀は終了、十時二十分陛下には二重橋前玉座に凛然と駒を立たせ給へば岩越中將の指揮刀一閃部隊は玉座の前を北より南に軍樂隊の吹奏する「觀兵式行進曲」に乘つて堂々分列行進を展開列中には近砲隊長に在す北白川宮永久王、野重八小隊長に在す李鍝公兩殿下の御勇姿も拜された

×

この間午前十時四十分頃、萬世橋驛上空から轟々の爆音も勇ましく航空兵團長德川好敏中將坐乘の九三式偵察機を先頭に、白石大佐の第一飛行隊井下少將の第二、柴田大佐の第三、長沼少將の第四各飛行隊新鋭機七十機が銀翼を連ねて高度三百、時速百六十粁の鮮かな編隊陣で飛來、大空を壓して空中に大分列式を行ひ南方芝公園の方に飛び去つたかくて空陸相應ずる感激に包まれて式は十時五十二分滯りなく終了、陛下には「君ケ代」奏樂諸員奉送裡に龍顔殊の外麗はしく再び御乘馬にて宮城に還御遊ばされた

外務省調査部長 堀内次官兼任

【東京國通】外務省調査部長栗原正氏のルーマニア駐劄公使榮轉は八日の閣議に附議正式決定、即日發令されることとなつた、なほ調査部長は當分堀内次官が兼任する

調査部長 栗原正
任特命全權公使
ルーマニア國駐劄被仰付
外務次官 堀内謙介
命調査部長事務取扱

軍政部分會員 耐寒行軍

滿洲國協和會軍政部分會會員總勢一千五百名は八日午前九時を期して第一回耐寒行軍を擧行し、三笠小學校を出發、寬城子、飛行場西側を廻り步武堂々忠靈塔に到り、盟邦の英靈に默禱を捧げて午前十一時解散した

貿易尻決濟に關する 爲替管理法改正

＝八日大藏省より公布＝

【東京國通】大藏省發表＝政府は本邦爲替の現勢に處する應急措置として左記要綱により輸入貨物代金の決濟および外國爲替銀行の海外指圖による支拂の制限に關する外國爲替管理法に基く大藏省令を一月八日公布施行することゝした

一、輸入貨物代金決濟のための爲替取引および信用狀取得は原則として許可を要すること

一、右の取締りの對象となる爲替取引には外國爲替買入れ、外國における貸爲替賣却、外國送金および依託支拂等の外本令施行前に締結したる外國爲替豫約の實行を含むこと

一、左の場合には爲替取引または信用狀取得につき許可を要せざること

イ、一ヶ月を通して三萬圓相當額以下なるとき

ロ、許可を受け、または許可を要せずして取得したる信用狀に基き爲替取引をなす時（本法施行前取得したる信用狀に基く輸入貨物代金決濟のため爲替取引は許可を要す）

ハ、本令施行の際輸入濟みの貨物または外國より積出濟みの貨物に關する荷付爲替手形決濟のため必要なる時に本令施行後一週間内に外國より積出したる貨物に關する積付爲替手形決濟のため本令施行前既に締結濟みの外國爲替の實行をなす時

二、無爲替輸出代金を輸入貨物代金に充當するについては許可を要すること

一、貨物を輸入するものが輸入に必要なる決濟をなすため在外の外貨證券、外貨預金、外貨貸付金等を處分しまたはこれ等の外貨資産を擔保として外國において外貨借入金をなすについては許可を要すること

一、外國爲替銀行は顧客の爲替取引および信用狀取得が適法なることを確認するを要すること

一、外國爲替銀行が海外指圖により銀行に對する支拂ひをなすについては一口一萬圓相當額以下の送金小切手送金手形または支拂指圖書の支拂を除き許可を要すること

一、十一年中に五十萬圓以上輸入したるものは昭和十年および十一年中の輸入貨物代金決濟實績報告書を提出すること

一、輸入貨物代金決濟に必要なる取扱につき許可を受けたるもので該貨物を輸入したるときは各月分の輸入報告書を提出すること

昭和十二年大藏省令第一號施行に關する大藏省外國爲替管理部の注意事項

一、輸入貨物代金の決濟に必要なる商取引に關する許可申請は事業上止むを得ざる事情ある場合を除き輸入貨物に關する註文を發しまたは買付契約を締結するに先立ちこれをなすべきこと

尚本令施行の際すでに買付商談成立濟みの輸入貨物に關するものは本令施行後速やかに又委託販賣または輸入者の註文に基かざる輸入貨物に關するものは該貨物の輸入あるべきことを知り得たるとき遲滯なく許可の申請をなすこと

一、外國爲替銀行は本令の規定に依る顧客の爲替取引および信用狀取得が適法なることを確認するを要するをもつて外國爲替銀行と當該取引または行爲をなさんとするものに許可證の提示その他の方法に依りその適法なることを證明すること

一、許可申請書の記載事項については昭和八年大藏省令第八號（外國爲替管理法に關する施行手續）を準用するも貨物の輸入取引關係等の詳記を要するをもつて申請に際してなるべく當部または最寄りの日本銀行に照會しその指示を受けること

一、本令の規定に關し種々疑惑を懐く向は當部または最寄りの日本銀行に問合せ、法令の違反なきやう注意せられたきこと

大藏當局意見發表

【東京國通】大藏省では七日輸入貨物代金決濟に關する取引に關し外國爲替管理法に基く大藏省令の設定を發表したが、大藏省ではこれが制定の主旨は今回の關税の全面的引上げによる見越し輸入を未然に防止し、目下低調を續けてゐる圓爲替の本年上半期の入超期における急落を阻止するのであつて今後の貿易ならびに國内經濟事情が爲替におよぼす影響に關する對策はこれを別個に考慮するものとし左の如き意見を表明した

今回の省令制定は四月より實施すべき關税の全面的引上げを豫想し、貿易商の見越し輸入が激增する傾向にあるためで、現在の爲替管理省令では貨物貿易に關する爲替取引は一切當業者の自由に放任されてゐるので現在のまゝでは入超期たる上半期にさらに見越輸入を加へ、これが爲替手當のため圓爲替は著しく惡化する懸念がある、大藏省では應急處置として入超期の終る本年七月末までに見越し輸入によると思はれる爲替取引に關しては充分調査し、國内の實狀を越えた輸入であると認められた場合取引を許可せぬ方針である、また大藏省では輸入商に對し昭和十、十一兩年の取引高に比し本年の取引高輸入高が激增してゐるものを特に取締る意向であるが、勿論取引上實際必要と認める場合はこれを許可し、國内產業に支障を生ぜしめることをあくまで避けるつもりである

ドイツ政府 東部國境一帶の上空飛行禁止

【ベルリン六日發國通】ドイツ航空省は六日午後ポーランド國境からオーデル河左岸に至る約七十キロの地方一帶の上空飛行を禁止した、恐らくドイツ政府は右森林丘陵地帶に强固な要塞を構築する意圖ではないかと言はれてゐる

優良漁船建造に政府の援助請願 海洋漁業振興協會

【東京國通】海洋漁業振興協會では昨夏以來優良漁船建造の具體策を研究中であつたがこの程成案を得たので七日右に關する請願書を總理、農林、大藏、海軍、遞信各大臣宛提出した、請願の內容は、五ケ年計畫をもつて優良漁船千四十七隻を新たに建造すべく、右に要する資金の八割約一億七百五十四萬圓を船舶改善助長施設に準じ政府の損失補償ならびに利子補給によつて來年度以降五ケ年間にわたり仰がんとする極めて老大なものである

鮮滿協定出席者 十日出發

鴨綠江河川協定の要務を帶びて滿洲國李交通部大臣、平井出總務司長、蓮尾工程科長、島崎安東航政局總務科長、王秘書官、石井事務官、梅谷外交部文書科長の一行は十日午後二時四十分發列車で京城に赴き十六日歸京の豫定である

加藤鮮銀總裁

加藤朝鮮銀行總裁は八日午後三時着列車で來京した

人事往來

着京

▲井上良治氏（會社員）七日來京ヤマトホテル ▲田中九一氏（滿鐵）同 ▲田中知平氏（泰東洋行）同 ▲高柳保太郎氏（弘報協會理事長）同 ▲染谷保藏氏（盛京時報社長）同 ▲松村四郎氏（滿鐵）同 ▲中澤正雄氏（會社員）同 ▲奥村愼治氏（滿鐵）同 ▲押川一郎氏（同）同 ▲金井清氏（同）同 ▲古澤幸吉氏（哈爾濱日々新聞社長）同 ▲井上匡四郎氏（貴族院議員）同 ▲分島周二郎氏 同北滿旅館 ▲牧野鐵彌氏（官吏）同大陽ホテル ▲石田與彥氏（高石組）同 ▲黑柳一晴氏（官吏）同滿蒙旅館 ▲大關鐵夫氏（鐵道總局）同大和新館 ▲中村撰一氏（札幌屯參與官）同 ▲赤穗德太郎氏（兩替業）同 ▲稻垣辰男氏（京城府勸業課長）同蓬萊ホテル ▲小林嘉平氏（官吏）同 ▲高橋輝正氏（滿鐵）同國際ホテル ▲石本惠吉氏（海運業）同 ▲山崎誠氏（官吏）同 ▲中野辯藏氏（綿布商）同 ▲安藤兆喜知氏（滿鐵）同 ▲高橋克己氏（鐵道總局）同 ▲永野忠一郎氏（鐵業）同旭ホテル ▲及川長五郎氏（官吏）同 ▲久保彥一氏（同）同 ▲三井佐雄氏（同）同 ▲江口爲近氏（同）同 ▲原田辰雄氏（國際運輸）同向陽ホテル ▲片桐紫次氏（會社員）同愛國ホテル ▲古賀學一氏（同）同 ▲德永清四郎氏（同）同 ▲山中經忠氏（商人）同富士屋 ▲阿部吉雄氏（同）同 ▲大柿光吉氏（日本ポリドール）同新京ホテル ▲中村軍良氏（延吉森林事務所長）同 ▲菅沼國太郎氏（官吏）同 ▲遠藤常久氏（前正隆銀行）同國都ホテル ▲渡邊通榮氏（撫順セメント）同 ▲北川勝夫氏（滿鐵）同 ▲宮本源太郎氏（松下電氣重役）同

出發

▲大津諒吉氏 七日發安東へ ▲加藤四郎氏 同圖們へ ▲七里定雄氏 同奉天へ ▲新井運吉氏 同五常へ ▲推名調三氏 同四平街へ ▲朝倉好信氏 同大連へ ▲來間恭氏 同 ▲吉山源三氏 同 ▲濱田富榮氏 同大阪へ ▲岩橋幸之助氏 同 ▲渡邊卯一郎氏 同チチハルへ ▲辻龍郎氏 同奉天へ ▲佐々木行雄氏 同圖們へ ▲市川宗助氏 同奉天へ ▲矢野泰隆氏 同ハルビンへ ▲福田外次郎氏 同 ▲松尾國治氏 同奉天へ ▲森岡金藏氏 同鞍山へ ▲冨細延三郎氏 同大連へ

その日〲

□ 西安事件の樂屋裏暴露して抗日戰線の擴大白日下、薩生の夢は長い

□ 金の鯱の鱗が百枚も消える別に凧に乘つて行つた形跡もないらしい

□ 十七年振りに二重橋前の觀兵式、その盛觀想像に難からず、國軍の春輝く

□ この日國都鄉軍に事變功勞表彰狀、建國功勞章授與、喜びニつ

□ 時差改正、とんだところから抗議、こゝ國都人士は時間に追はれてゐる

歌はぬ樂譜（二十八）

山中峯太郎
水門讓二畫

第二の會見（一）

いかにも嫌だつた『井上英子』この初對面の印象を、俊子は、顏の前から振り拂ふやうな氣もちで、すぐにタクシーへ乘つた。

『新宿の帝都座へ、五十錢、いゝわね』

『オーケーでさ！』

青年の運轉手だつた。うなづくと、永藤の前から、上野の廣小路の賑やかな街を、松坂屋の方へ、まつすぐに走らせて行つた。

——飯島正枝つて、どんな人だらう？

次の會見を、俊子は、タクシーの中で空想せずにゐられなかつた。

亡くなつた澄江さんを中心に、深まる疑ひが、また新な悲しみと共に、俊子の胸へ、からまりついてゐた。

——早く『本野』といふ人に會つて、澄江さんのハンドバックの紛失を詫び、あたしだけの解決をつけたい！飯島正枝つて、なにか堅苦しい獨身の、中年の人のやうな感じがするけれど……。

けれど、會見を申し込んで來た手紙の筆つきが、みずみずしく書かれてゐたのを、俊子は、ありありと思ひ出した

——飯島正枝、この名からくる聯想は、けれど、何となく堅苦しいわ。

それよりも、あの廣告を、名宛の『本野』その人が、まだ見てゐないのか。本人から何とも言つて來ないのが、俊子は、まるで當がはづれて、

——澄江さんに、すまない！……

くれぐれも自分の落度が、ハンドバックの紛失……盜難が、くやまれるのだつた。

窓のそとに、さまざまの都會人が、いそがしさうに動いて行く。

それが、俊子には、ふと不思議なものに思はれて來た。

——みんなが、それぞれの運命で動いてゐる。

自分も、その中の一人なのだつた。今こゝに、見えない糸に、あやつられて行くやうな、いかにも不思議な、何とも言ひ知れない運命的な感じ

それが、タクシーの中で搖れ動いてきた。

車は大通りを折れて、電車のない近道へ、もう四谷を走つてゐた。兩がはの家並を見ても、俊子は、ふしぎな感じに打たれて、

——一軒づゝ、皆、違ふ運命をもつて住んでゐる。

それが、あたりまへの現實でありながら、俊子は、いかにも街そのものさへ、まざまざと神秘的な奇妙な存在の樣に思はれて來た。

沼津の家が、父と母と兄の顏がこの時、目の前に並んで幻に現れた。

賑やかな新宿の大通りへ、車が走り出て來た。

幻想から目ざめたやうに、俊子は、向ふの方を見つめた。左がはにそびえてる帝都座、その地下室が、モナミ食堂だつた。

そこの前へ、運轉手が靜かに止めると

『お待ちどほでした』

左手をのばして、ドアをあけてくれた。俊子は、五十錢銀貨を渡すと、すぐに下りて行つた。

——飯島正枝さん？

モナミの狹い入口に、誰も立つてゐる人がなく、俊子は腕時計を見かけた。そのときうしろの階段に、上つてくる靴音が聞えてヘッと振りかへつてみると、紫紺のベレー帽の下から、斷髮の圓々してる顏が、俊子を見あげて。

——アラ！……

といつたやうに、とても明るい瞳が微笑するのだつた。

——この人？

と、俊子も、この初對面の明朗な微笑みに、思はず引き入れられかけた。

サッと躍るやうに、その人が階段を飛び上つてくると、いきなり、

『村井さんでいらして？』

すばらしいラクダの茶色オーヴァが、くつきりと身體に合つてゐる。右腕を今にも俊子の方へ伸ばしかけて、

『さうでせう？あなた！』

あまりに冴えて見えるゼスチュアに、俊子は、初めから壓さへられた。

第一線鄕軍に輝く事變功勞表彰式

公會堂に先づ勅語、勅諭捧讀　建國功勞章も授與

帝國在鄕軍人會新京聯合分會の勅語勅諭捧讀式並に滿洲帝國建國功勞章の授與式は八日午前十時から新京記念公會堂講堂で

擧行 された、講堂正面には日の丸大國旗を揭げ式場にはおのずと嚴肅の氣みなぎる中を鄕軍會員約八百名軍服姿凛々しく整列を終れば來賓山內中將、中野總領事代理其他各機關代表等着席、一同國旗に對し最敬禮ののち國歌君が代を奉唱、五十嵐聯合分會長恭しく勅語勅諭を捧讀、續いて一場の挨拶を述べ來賓山內中將の祝辭があつて閉式、引續き建國功勞章並に表彰狀授與式に移り五十嵐聯合會長より四戶友太郎、岩坂本三郎、下總直助、松村淸藏、田中敬七、藤村要助の六氏に滿洲國建國功勞章を授與し次で聯合支部長より昭和六年乃至九年の滿洲事變に功勞あつた帝國在鄕軍人會長春分會に對し陸軍大臣の表彰狀を五十嵐聯合分會長に授與し

會歌 を合唱、五十嵐聯合會長の發聲にて天皇陛下萬歲を中野總領事代理の發聲で新京聯合分會の萬歲を三唱し十一時二十分頃盛大裡に終了した（寫眞は五十嵐分會長の捧讀）

自轉車泥捕はる

錦州省生れ張永畢（二十九）は七日午前九時頃日本橋通り四十番地路上で自轉車一台を竊取逃走せんとするところを成松刑事に發見され祝町三丁目で逮捕された

大同學院十一日入校式

新春の初頭を祝福して滿洲國將來の中堅官吏を養成すべき大同學院本年度入學式は板垣關東軍參謀長、張國務總理はじめ日滿大官多數參列のもとに十一日午前十一時から同校講堂で盛大に擧行される、式次第は國歌合唱、井上學院長式辭、張國務總理訓示、來賓祝辭、卒業生祝辭、入學生代表の答辭あつて閉式となるがこれに先立ち十一日午前十時から入學宣誓式が行はれ、入學生の宣誓文の朗讀に對し井上學院長より一場の誨告ある筈、なほ本年度晴れの入學生は二部生百名（滿系現職者）一部生七十五名（日系現職者）協和會委託生七名計百八十二名である

引込線で即死

七日午後三時三十分頃高砂町四丁目發電所前の材木引込線で空貨車入れ換へ中の機關車に韓家屯方面より步行し來れる李胡氏（四三）が捲き込まれ即死した、同線は使用稀れな爲め鐵道線路と道路踏切りが曖昧となり以前も事故のあつた箇所で一層の注意が要望されて居る

商工助成機關今月中に開設

市中商工業者の有力な助成指導機關としてその開設を待望されてゐる新京商工會議所內の商工相談所並らびに商工研究會、新京小賣業合理化委員會の諸機構は舊臘着任の田子金吾氏主任となり着々諸般の準備中であるが、近々その具體案完成し、早くも一月中には開設をみる豫定である

武田學務課長

滿鐵學務課長武田胤雄氏は八日午前八時十分の列車で來京九日退京の豫定

熱河省建平縣に眞性ペスト發生

衞生司より係員現地へ急行

全滿ペストの根源地と稱されてゐる熱河省建平縣に年末年始にかけて十數名のペスト患者發生、民政部衞生司では防疫對策に大童となつてゐる、一月五日熱河省建平縣小哈拉道口に疑似ペスト發生九名の死亡者ありたりとの情報に接した赤峰隔離所安藤技士は直ちに所要人員を伴ひ現地に急行調査したところ意外にも、十二月廿五日より一月一迄に十名の死亡者があり檢微鏡檢査の結果ペスト菌を無數に發見したのでその旨七日衞生司宛來電あり、民政部衞生司では本日波多防疫官佐と助手一名を現地に派遣して防疫對策を講ずること丶なつた

期待される女子フヰギユア

滿洲氷上競技界は歷史的に觀ても內地と大差なく殊に氣候的には格段の有利な條件を持ち事實上日本氷上競技界に君臨してゐるが從來その發達過程は男子のみでなく女子においてもスピード競技が主となり、オリンピツク女子選手の總べては滿洲出身者によつて占められてゐるところであるが、それに比較してフヰギユアスケート界は男女ともに些か立遲れてゐるのは否めないこれが原因は適當な指導者の不足、寒氣酷烈な自然的リンクの不備等種々擧げられてゐるが近來歐米のスケート界の狀勢が紹介せられるにつれ、女子スケート界は體力的にもその性質からいつても斷然フヰギユアー界が隆盛を極めスピード界は日本女子選手の遠征に刺戟されて對抗的に選手を出すといふ奇現象を呈する次第で、滿洲女子フヰギユアースケート界の振興は一般體育的見地からも大いに望まれてゐたところ、幸ひ本年度から國都スケート界の全面的發展策が講ぜられるにつれ、敷島高女を中心とする女子フヰギユアー界はその進步目覺しく、さる十二月二十日西公園リンクにて擧行された記錄會にも總務三十餘名の受驗者があつた程であるが、殊に來る十日奉天國際リンクで擧行される全滿氷上選手權大會には奉天、大連、安東等の各先輩地を凌いで新京からは總勢八名の選手が大擧出場すること丶なつたのは學校當局の英斷もさることながら、その花々しい活躍により全滿の女子フヰギユアースケート界を刺戟するところ甚大なものがあるとして多大の期待を持たれてゐる

金の鯱の鱗百餘枚が盜失

【名古屋國通】天下に誇る名古屋金鯱城の鯱の鱗が相當多數盗まれてゐるのを

發見 センセーションを捲起した、名古屋市では昨年八月頃から築城のナゾを解くべく櫓を組んで大規模な天守閣の實地調査を進めてゐるが、七日朝係員が天守閣に昇り調査の結果、北側の雄の金鯱が百餘枚も剝奪されてゐるのを發見、新榮署へ屆出たので同署では名古屋檢事局、縣刑事課の指導を仰ぎ現場の指紋調査を行ひ捜査に大活動をはじめた、その昔大凧に乘つて柿の木新助が鱗を盗んだといふ傳說があるだけに町の話題を賑はしてゐる、なほ金鯱は五層天守閣の棟上にあり南が雄、北が雌の二個、頭から尾までの長さは各八尺五寸、これを造るには慶長小判一萬七千九百七十五兩の黃金を要したと傳へられ名古屋市役所の推定によると盗まれた鱗は百枚の

價格 は大體七十七萬數千圓であるといふから從つて百餘枚では八十餘萬圓になるわけである（寫眞は名古屋城）

東公園改裝の發起人初協議

伊藤公の胸像建設も叫ばる

日本橋橋畔の東公園は長春から新京への邦人發展の由緒ある史蹟として附屬地名所の一であるが從來その施設不充分なるため市民一般からあまり顧みられない狀態を遺憾とし新京事務局では解氷期をまちて大々的改裝計畫を樹てゝゐるが、中でも園內所在の伊藤公記念館を公園一隅に移すと同時に偉人の面影を偲ぶ胸像建設の議も附屬地有力者間に起りつ丶あり、發起人田中卓二、四戶友太郎、佐藤精一、島名福十郎、石崎廣治郎の諸氏は八日午後一時から記念公會堂にてその第一回打合會を開催し具體案を協議した

ダイナマイト泥棒新京署で逮捕

拐帶犯人を捕へた副產物

山口縣熊毛郡三丘村生れ勝田正雄（二十八）は吉林省四西線の土木工事場で働いてゐる中昨年來た組の支拂並に用具購入の爲め三千餘圓を託されたのを奇貨とし來京したま丶該金を着服行方を晦まし手配中の處七日午後四時頃永樂町三丁目路上に於て成松刑事に逮捕されたが同時に同じ工事場からダイナマイト、雷管、導火線を竊取逃走せる共犯者原籍大分縣北海部郡大在村大工職藤野信勝（二十七）も逮捕された

社大、勞農の合同成らず

【東京國通】社大黨と勞農無產協議會との合同による反ファツショ無產戰線統一運動は協議會側の提唱によつて昨秋とみに熾烈になり松本治一郎黑田壽男兩代議士が斡旋役として登場、社大黨幹部に對して前後四ケ月に亘つて熱心な合同折衝が行はれたが遂に纏らず十二月來兩氏は已むなく斡旋の手を引き今後同運動も一頓挫の形となつた、理由は裏面にわだかまる勞協幹部に對する感情對立が最も大きな障碍となつてゐるものと見られてゐるので期待されたファツショ戰線の統一運動は解消新春を期して再び兩黨對立の昔に歸ること丶なつた、その結果これまで圓滿なる合同を希望してすでに手控へてゐた勞協側ではこの合同決裂を機會に新政黨として活潑な運動を開始することになり一月中に全國遊說を行ひ二月には結黨最初の全國大會を開くことになつた

初春新家庭訪問記（三）

このはるはこゝをふりだしにしんからのしんみち

良妻こゝにあり立て雄々しく

舊臘廿八日の結婚櫻井忠臣氏

門脇生

興安大路八、警察官舎第二號　翻らかなさんざめきが、煤煙に黒ずんで凍りついた小路の粉雪を巻き上げちぎるやうに寒い戶外にまでもれ出ている、舊臘廿八日新京神社の社前に偕老の契りに結ばれた新京署巡查富士町派出所勤務、櫻井忠臣氏と愛妻春枝さんの愛の巣であることを知らぬ人はあつても、あたりの靜けさを破る室內のにぎやかな笑聲は春らしい和やかさを道行く人に感知せしめる、二、三の來客がある、春を壽ぎまた新婚を壽ぐ來客だ、ちらつと覗かれるだけでもボーとする新夫婦を圍つて誰れも一度は通つてみた當時の幾體驗が次ぎ／＼に交され新夫婦をして幾度か頭をかき紅に頬を染めしめる、哄笑、爆笑のさんざめきである、

○……○

『三十才までは斷じて結婚しないつもりでいたのですが年老いた父と二人の男世帶ではー』

と結婚の動機を語る櫻井氏は軍隊で鍛錬した頑健な體格と率直にして純情非常に人なつつこい、愛妻春枝さんは夫君より一つ違ひの二十六才、警察官の家庭に育ち嫁がれる日まで大連滿鐵醫院に勤務、浮世の荒波にも鬪ひ人生の機微をうがつておられるだけあつて良き妻たるのほのめきその一擧手も板についている、

○……○

『僕も新京署に來る迄は大連水上署につとめ妻と同町にあり未知ではありませんでしたが急に話がまとまつて、こうなろうとは思はなかつたのです』

郊つた二人である、その頃のー戰く胸にそつと秘めた青春の思ひ出こまやかな物語りでもと、それとなく聞いて見る

『とんでもないそんなことは…』と、

語尾は笑ひくづれてはつきり聞きとれなかつたもの丶、よし美しい思ひ出はあろうとも醜さなんか純情の氏にしてある筈はない、その點訪問子受合つて保證出來る、

『然し結婚と言ふものは獨身時代の想像のつかないものですね、さあどう言つてよいか……』

つかない想像、言ふに言はれず語るに語れないところにこそ新婚の妙味があるのではないかと訪問子また遠い昔を夢見るのだつた、

○……○

身も心も凍る夜の大都安民の守りに出勤、武裝に身を固めんとする夫君を甲斐々々しく世話する女房ぶり、新妻ならではと感ぜさせられる可憐さが溢れて、はたで見る目も氣持よく繪に見る樣な美しさだ芝居ならおしげもなく絕賛の嵐も送らうもの、明日逢ふ日までのたつた二人のこの一時情愛のほとばしるま丶抱きしめられたつてはじる何ものがあらうに、今日と言ふ日はまたとないその一時の樂しみをぶちこわしてしまつた訪問子ひそかに罪を謝しまた恍惚としてその狀景にみとれるのだつた、

○……○

はにかみながらの語らひ、情愛こまやかな立居ふる舞の新夫婦を終始ニコ／＼と限りない慈愛に眺めつ丶あつた尊父爲五郎氏はポッと口を開いて

『わたくしでもくらやみから明るみに出た樣な氣がするんで本人達の心の中は何を言はんでも へ……』

くらやみから明るみへー老父への孝養これにすぐるものあらむ、出動の夫君後に何の心殘りがあらう、良妻こ丶にあり立て雄しく希望の明日へアー春なり、春なり、春ならでなんとせう爛漫と咲いた三國一の嫁御寮！

（寫眞は夫君を送り出す春枝さん）

あす（九日）

▲フヰギユア選手出發、午前十時
▲八島小學校學藝會、午後一時
▲土產商組合會發起人會、午後二時、公會堂
▲やつこ會公演、午後五時半公會堂

◎…今晚の主なる演藝…◎

▲六・五五カレントトピツクス（東京）▲七・三〇趣味講話「瑞鳥を語る」（東京）鷹司信輔▲八・〇〇浪花節「實說鳴門義人十郎兵衞」（大阪）富士月子▲九・〇〇管絃樂（東京）日本放送交響樂團▲一〇・〇〇ラヂオドラマ「女中あい」（大連）大連藝術座

天氣と氣溫

明日の天氣　西の風晴一時曇
日の出　前八時一二分
日の入　後五時一九分
月の出　前五時一二分
月の入　後二時一三分
けふ氣溫　最高零下六度八　最低零下一八度六

新映畫評 〝彦六大いに笑ふ〟 PCL作品

◇……三多摩自由黨の生殘り壯士、老骨なれど氣槪のみは血氣に增る不敵な度胸と奇骨の持主彥六が、大都會の一角（こゝでは新宿と指定されてある）に立退きを强請されつゝ、策動する利權屋を相手に一人頑張り通す物語りをとほして、明治の時代から生き殘つてゐる人間の一つの「型」を描き出さうとしたものである、

そしてこれはかなり高度にまで描かれてあると思ふ、隨つてかういふ一つの「型」に無條件に共鳴の出來る人達には十分に愉しめるものがあらう。

◇……原作脚色は三好十郎によるものであるが、脚本は演劇的な構成を持つた手固いものである、只彥六老人の目的が奈邊にあるかゞ明確に浮び上つておらず、積極的に社會的なものとも結びついてゐないのは、聊か作品の商品上の佗僭を考慮した手加減であるのかも知れないが、或ひはこれが爲めに却つて作品の上に現はれた結果はより以上に効果的なものがあつたとも考へられる、然しこれを除けば彥六と彥六を中心とする周圍の人々の動きは逞しい筆致で克明に描かれてゐた。

◇……木村莊十二の演出は「兄いもうと」に劣らぬ出來榮えである、甚だ好調にあると言はれやう、最後においての肉親愛が昂揚されてゐる邊り、先に言つた脚本の手加減はこの人の演出によつて更に密度を加へたものと言へやう、三好十郎と木村莊十二の作家的稟質の差位を物語るものである、夜中から夜明けまでの時間的經過にも周到な用意が行きとゞいてゐたやうである、主演者では彥六の德川夢聲が斷然光つてゐる、台詞廻しの確實さが特筆される丸山、堤等夫々好演技を示し高度な異色作である。豐劇新キネ上映中、寫眞はその一場面、（N生）

モダン漫才やつこ會 明晩より開演 豪華陣容整へて公會堂で

中京名古屋美人軍を網羅したモダン漫才「やつこ會」一行は明九日より三日間に亘つて記念公會堂において華々しく蓋を開けるが、一行は劍戟漫才王橫山源一、やつこ丸女をはじめとし新進漫才の奴亭一若、奴亭一丸等數組の他に駒廼家奈美江のイットに富む唄と三味等を呼びものとしこれにナンセンス、舞踊、漫談ジャズを加へた大衆演藝の豪華陣、正月を飾るに相應しい色ものとして前人氣旺んである、初日プログラムは左の通りである（寫眞はやつこ亭梅太郎の少年劍戟舞踊）

1、新舞踊（熱田まつり）
2、漫才
3、新舞踊 船頭かはいや
4、スケッチ（？）
5、ダンス（一九三七年）
6、笑劇（福の神一景）
7、ダンス（スパニッシュ）
8、尺八吹奏
9、漫才
10、ナンセンス
11、新舞踊（戀のなげ節）
12、新舞踊（柳の雨）
13、音曲漫才
14、三人道樂
15、ダンス（影を慕いて）
16、立體漫談
17、ジャズ演奏
18、舞踊（長唄元錄）
19、少年舞踊（股旅小唄）
20、唄狂樂
21、獨唱（歌謠曲）
22、創作漫才
23、舞踊劍戟（戀の月形）

〝激怒〟 けうからの帝都キネマ

帝都キネマ八日よりの番組は左の如くメトロ新興各一番組を配した四本立編成である

▽メトロ「激怒」「丘の一本松」のシルビア・シドニーと「諾？否？」のスペンサー・トレッシーの共演する映畫で、フリッツ・ランクの渡米第一回作品として發表されるもの、原作はノーマンクラスナが書卸し、脚色にはランクがバートレット・コーマックと協力して當つた、お互に貧乏であるが爲に結婚出來ないでゐる相愛の男女が幾年かの期限を期して新しい生活のための資金を稼ぐことになる、然し不幸にして男は或る町で無賴の一味と間違へられ雷同した群衆の激昂にあつて恐るべきリンチを受けた危ふく一命を脫したこの無辜の男はリンチに手を下した二十二人の敵を向ふに根强い復讐を企てるのである キャメラはジヨセフ・ルッテンバークの擔當、日本版九巻

▲寬プロ「鳴門秘帖」吉川英治の原作は往年の大衆文藝愛好家どもを唸らした傑作、この度は白谷一夫の脚本により吉田保次がメガフォンをとる、寬壽郞の法月絃之丞、森靜子の見返りお綱の他に、千代田勝太郞、櫻井勇、原聖四郞、春日淸、水野浩、尾上紋彌、頭山桂之助、坂東太郞等が主演、阿波の蜂須賀藩に幕府の隱密として忍び込み、遂に生死不明を傳へられるに至つた甲賀世阿彌を求めて阿波の鳴門を越えて若き劍士の活躍が始まる、キャメラは野村金吾の擢任

▼新興大泉「後の豪快男一代」前篇「豪快男一代」に次ぐ曾根千晴の監督作品、河津淸三郞、山路ふみ子、毛利峰子、菊井一郞等が主要な役割を占め浪大一流の筆法と麗調をもつて「男黑田健次」一の多情多恨のものがたりが綴られる

▽メトロ「海賊の踊る」メトロの色彩映畫として發表される作品でチエスター・モーリス、チャールス・ロヂャース、ケイリイ・グラント、ランドルフ・スコット、マリオン・デヴイス等一流のキャストが總花の賑ひを呈する短篇、當地が第四回目の封切である

サボテン

ドリアンに今度京都祇園から京都美人の代表のやうな絹子さんと云ふ背のすらりとした愛嬌のよい十八娘が來た▼お淑やかに「左樣で御座いますか」とお辭儀をしてニコリと微笑むので新京の獨身ものどもは宿舍を空にしてねばつてゐるが見る人が甘くなるのでこのごろめつきり砂糖がいらなくなつたとはうそのやうな話▼同店の千惠ちやん、苦學報いられもうすぐタイプライター學校を卒業すると歡喜の胸をおどらしてゐるが「うれしいでせう！よかつたね！」といへばどふして「これから大事な仕事があるの」と云ふ何だらうて？「耳をかしなさい」ソレハ婿さんさがし」

雜音

帝都、長春座けふから寫眞替り、帝都の四本立は量質ともに申分のない豪華プロ、長春座の「勝敗」「大學の若旦那」「爆走する退屈男」「箱根八里」は再映プロ四本立のこゝらの一流の最的偏成▼次週十日からの「新道良太の巻」「春姿六人男」に備へて一息入れてゐる態だが、何しろ他館の約倍額も稼いだのだから息をつかねばなるまい▼館主聯盟の申合せが年を明ける早々破れて折込みが亦復活した、大體宣傳を協定しやうなんてことが何處の世界の活動屋の道にある？誰れが言ひ出したか笑止な話である

對英一志二片を固執 圓價維持を期す
正金明確なる態度を表明

【東京國通】圓爲替の前進は老大豫算の遂行を前にして軟弱性濃化を懸念されてゐるが爲替銀行の總元締たる正金銀行ではこの際國策的見地よりしても圓價の現狀維持が絕對必要なりとしていよいよ對英一志二片の相場固執の態度を明確にするに至つた、こゝ數日來ロンドンならびにニューヨーク兩市場に於る正金の擁入工作がその具體的現れであるが、正金では左の如き見地よりあくまで對英一志二片の建値維持に邁進するに確定してゐる、すなはち

一、建値を引下げ低爲替政策を執るべきことを說くものもあるが、現在のわが國の如く大なる原料輸入國では之れは不得策である

一、これ以上低爲替になつた場合には現在でも各國からうるさく爲替ダンピングなどゝいはれてゐる國際通商關係を一層不利な方向へ導くことになる

一、またこれ以上引下げないで濟めばそれだけ海外拂賞用を節約し得る譯である

一、また引下げるとしたなら技術的にどの邊で安定が可能か、一度引下げたら反つて不安を募らせていよいよ困難視される惧れがある

右の如き見地から一志二片の建値下げを絕對不可としてゐる、正金は勿論その前提として將來のわが國際收支の關係を比較的樂觀してゐる

三七年の世界經濟 轉換期に面す
恐慌緊急對策は行詰まる

一九二九年秋以降の世界經濟恐慌――それに續く大不況は一九三三、四年頃から底入れ回復に轉ずること周知の如くである、特に最近英米兩國の回復振には眞に目覺しきものがある、然し乍らこの世界經濟の回復、就中歐米經濟の回復の裏には前途幾多の大問題を包藏してゐるのである、といふわけは最近年の歐米經濟の回復は、世界恐慌に處する緊急對應策の上にその基礎を多分に築いてゐるが、これらはその性質上永續し難きものを多分に含み、景氣の回復と共に早晚改訂せられねばならぬ運命のものであつて、前途にかゝる改訂期が控えてゐるからである

そもそも過ぐる一九二九年の恐慌の原因は何であり、又各國はこれを如何に克服せんとしたかといふに、まづその恐慌原因を要約すれば、結局世界の生產力の激增過剩に甚く國內的國際的需給バランスの一大破衡にあつたといひ得る國內的には農產物價と工產物價のシェーレから農村購買力の減退を來したに反し產業の合理化、大企業化、機械化による生產力の激增と構成的失業者の激增に伴ふ購買力の減退があり、國際的には米國、日本等新興工業國およびその他後進國の生產力の激增に加へて歐洲交戰國の戰後の復興に伴ふ生產力、消費力間の世界的大不均衡が結果され、それが遂に爆發して一九二九年秋以降の大恐慌となつたのである

これに對し各國は如何なる對策をもつてこの不況を克服し今日の回復を齎らし得たのかといふに、その多くは既述の如く多分に應急的頓服藥的對策であつた、以下諸列國のとつた根幹的對策とその效果ならびに副作用の跡を檢討して今後の世界經濟問題の在所を探究する手がゝりをみるであらう

先づ主なる恐慌不況對策を列示せば大體次の如きものであつた

一、公共事業その他の失業救濟對策のため、巨額の公債を發行して政府消費を增大する財政インフレ政策（米國のニューディールはじめ世界的である）

二、農產物價引上げ、農村購買力增進のため農產物の買上または政府補償による減反減產政策（米國のA・A・Aがその典型）

三、高度の保護關稅による國內產業の保護、金本位離脫、平貨切下げ、金利低下等による國內高物價政策をもつて、國內產業の保護助長および對外物價安による貿易進展策の採用（英國がその典型）

四、政府事業の擴大に伴ふ內國經濟の統制强化（國內的需給調節また生產助長のため）と、海外市場獲得確保のため對外的統制すなはちブロック經濟政策、最惠國主義より互惠主義乃至特惠主義による排外的貿易政策への轉向（英のオッタワ會議によるブロック化を始め各國の採用せしところ）

五、市場獲得、原料資源獲得戰の激化に伴ふ國家對立――不安の深刻化に應じて軍備擴張の再開と軍需インフレ政策（列國共通）

右の中、一、の政策は殆んど世界各國の採用せしところでその最たるものは米國のニューディール、特にN・R・AやT・V・A發電計畫の如きである、ルーズヴェルト大統領が、一九三三年三月、金融恐慌の最中に就任して以來今日までに、發行公債增加、百三億餘弗におよぶ事實を顧れば、その大規模な財政インフレ振が想像され得るし、それが國內經濟活動への好刺戟となつたことも窺はれる、獨逸のヒトラー總統の如きもまた公共事業計畫に二十一億マークの巨額を費消したと言はれてゐる

二、の典型としては、米國のA・A・Aやバンクヘッド棉花統制法がある、獨、佛等も亦農產物價吊上または自給政策上、農產物に政府の保護を加へてきた

しかしかゝる一、または二、の如き政策が永續的繁榮の基礎たらざるは明かであつてその財政負擔の重課、高物價による工業勞働者の生活難、外國品との競爭力弱少化に甚く外國市場喪失等はその弊害だ現に不況の底入と共にかゝる財政負擔乃至外國市場の犧牲による不況對策、失業對策の改廢を要望する聲はますます著しく、一方工場ストライキの激發の兆をみるは正にこの政策の行詰破綻の表明だ

次に三、の政策は、特に英國において建築ブームその他の形をとつて今日の國內景氣回復を齎らしてゐるが、これもやがて飽和して行詰に逢著することと必定だ、すでに英國のそれは已に行詰り、財界の中からこれ以上の繁榮は海外投資以外にないとの聲を聞くではないか

四、のブロック經濟政策は、一九三三年六月ロンドンにおいて開催せられた世界經濟會議の破綻によつて急角度に强化された、國際協力による世界不況克服の希望の下に六十數ケ國代表者が相會して協議したこの世界會議において、米國側のインフレーションによる物價吊上政策ならびに弗爲替引下政策の固執と英國その他の爲替安定および通商障碍撤廢による貿易振興策主張との衝突によつて會議は遂に失敗に歸したのであつた（こゝに注意すべきは、この會議當時の世界經濟の問題は主として純經濟的な通貨安定問題にかゝつてゐた點である）

かくて世界通商主義よりの各國の後退は、いよいよ拍車をかけられ國家主義的、孤立的繁榮策に轉向したのであつた就中その典型的な國は大英國である、この世界會議に先立つこと一年前既にオッタワに會議を開き、その廣大なる自治領植民地を政治的に打つて一丸となし、ブロック內の原料、完成品交易の圓滑をはかり、對外的には差別待遇的關稅政策によつて外國の通商進出を防遏排擊せんと企てゝゐたが、國際會議の失敗によつてますますその强化をはかつたのである（この英國との摩擦の最たるものは、後述の日英關係である）

いま英國の輸出指數を通してこの政策の成否を檢討するに一九三二年その指數は漸增を示し、その成功を思はしめるが、三五年を峠として、三六に至つてその伸長力は停頓否低下の徵候すら示してゐる、特に注目すべきである製造品重工業品の輸出不振は一方、輸入は却つて增大し、貿易尻は惡化してゐる、蓋し三、の關稅引上、國內物價高の結果、國內景氣に拍車をかける（それもいまや行詰狀態だが）とゝもに、他方、生產コストが高まり、對外競爭力が低下し、輸出難輸入增を來したと解せられる、例へば、かゝるブロック政策にも拘らず日本の廉賣品が、一九三六年においても英國の自治領植民地等への進出の步を弛めざるは注目すべきだ、さらに前揭

三、四、の如き孤立的繁榮策は、世界の工場として自他ともに許してゐた英國の如き大工業國にとつては、永い目で見れば、結局天を仰いで唾するの類で、その反動によつて自らを苦しめることにならざるを得ないのである、蓋し、英國が外國からの輸入を遮斷すれば、今まで英國に品物を賣つて英國品を買つてゐた諸外國の購買力をそれだけ減ぜしめるからだ、その上さらにかゝる政策の惡影響ともいふべきものは、經濟的不安を政治的軍事的不安へ移行せしむるテコとなることだ、例へばヴェルサイユ體制下にあつて巨大なる戰債を負ひかつ國內資源乏しき獨、伊の如きは、かゝる通商障碍の强化された場合國際收支の惡化を恐れ、輸入制限、又は割當を强行し自給自足をはかるとゝもにさらに資源獲得競爭へと驅り立てられ遂に今日歐洲政治に見る如き不安を招來してゐるが如きだ

なほこの問題に關しては、さらに次の如き諸點を注意せねばならない

イ、歐洲には近年まで移民の自由があり（東洋には早くそれが閉鎖せられてゐたが）この前提の下にその安定が保たれてゐた

しかるに、近年南北米及び濠洲等において移民の自由は閉鎖せられ、その結果植民地を有せざる國はこゝに多大の人口過剩の壓迫ひいて失業問題に襲はれ、經濟的、政治的國際關係の摩擦を激化してゐる

ロ、イの人口過剩、失業增加の解決を商品輸出の形で圖らんとすれば、上述の如き通商障碍で阻まれ、この平和的方途もまた塞がれてますます政治的不安を加重してゐる

ハ、加之、從來、世界經濟は歐洲がこれを支配し自然世界經濟はかゝるものとして組立られてゐた、しかるに近年特に歐洲大戰以後米國と日本との擡頭により、歐洲制覇を前提とする世界經濟體系は崩壞するに至つた就中一九二九年の世界不況後その產業の合理化と滿洲事件を契機としいち早く回復した日本經濟の大進出が、從來の世界經濟體系に與へた影響は實に甚大である、殊に世界の工場として君臨した英國經濟に與へた衝突の激烈なりしは兩國の輸出市場獲得をめぐる抗爭が、日印、日埃、日濠、會商となつて、火花を散らしたことを見れば、思ひ半ばに過ぐるものがある

北滿鑛業資源調査に 北滿經調乘出す

【哈爾濱國通】北滿の新興產業開發のパイロットとして活潑なる機能を發揮してゐる北滿經濟調查處では滿洲國產業五ケ年計畫の實施に伴ふ北滿鑛業開發の重要性に鑑み近く現在の滿鐵經調鑛業部駐在員の陣容を擴充整備して、新たに鑛業班を組織し北滿における鑛業資源の調查に積極的に乘り出すことゝなつた、なほ本年度においては產業部を擴充强化しさらに哈鐵產業處、滿洲國實業部等と連絡を緊密化して產業五ケ年計畫遂行の側面的援助に拍車をかける方針である

兌換券收縮 十五億大台を割る

【東京國通】七日に繰越された日銀帳尻によれば、貸出しは引續き年末資金の日銀返金還流から七千四百十萬二千圓を大巾に減じて五億六千百四十三萬八千圓と早くも六億圓臺をはるかに下廻つて貸出しの浮動部分はほとんど一掃された形となり、兌換券發行額も一擧に一億二千八百五萬一千圓を收縮して十五億七千百七十二萬八千圓となり、僅かに二千三百二十三萬六千圓の限外發行を餘すのみとなつたが、七日には發行兌換券はさらに七千萬圓方を減少し十五億大台を割つた模樣で、昨年末廿一日から十八日目に至り漸く保證準備限度內發行兌換券の收縮をみたわけである

日本の用鹽工業と 滿洲國產の鹽
原料の確保に增產は重要

鹽は貴重な食料品であると同時に近代化學工業の母體たる曹達工業の原料として愈よその重要性を加へ來つてゐるが日本に於ける曹達工業の躍進は驚嘆に値ひするものあり之を數字的に見ても昭和十年中日本工業用鹽の消費見込數量は約百二十萬キロトンで、昭和元年中の十萬キロトンに比し十二倍の增加を示してゐる而して之等の工業用鹽はその九十%以上が曹達工業に振り向けられ、殘り十%內外が染色工業用として消費せられたのである、以上は必然的に日本輸移入鹽の需要を喚起した他面日本內地に於ける食用鹽は國內生產を全部充當しても足らず若干の移入鹽に依つて補ふ現狀にあつて工業用鹽は全部國外鹽の供給に俟つ有樣である、故に滿洲國又は關東州に於ける增產計畫は一朝有事の際に於ける基礎工業の原料確保といふ觀點よりその重要性を識ることが出來る、かくて日本工業家の希望を容れ大同二年二月滿洲國政府は一億斤を限度として工業用鹽の對日輸出を認め更に一步を進めて康德元年四月日本專賣局との間に工業用鹽日滿間輸出入假協定なるものを締結したこれによれば日滿兩國政府は日本斤一億斤乃至二億斤の範圍に於いて每年買入數量を協定し日本專賣局はこれを各用鹽工業家に割當てることゝなつた、この輸出には奉天省復縣鹽場を以つて充てたのであるが輸出數量漸次增加し昨年は營盖場鹽を合せ約二億斤の輸出を見た、滿洲國鹽內日本輸入價格は外國鹽に比し有利であつて今後輸送設備の完備製鹽技術の改良に依る品質の向上と相俟つて日本用鹽工業の資源問題を解決するに至るであらう

滿洲國の產業開發と交通（下）
滿鐵總裁 松岡洋右

惟ふに滿洲國は海岸線近く河江湖上のみるべきものなく土地廣大にして人口稀薄、資源の顯現未分ならず粗放產業を主とし而も海外市場に國民經濟生活の重大部分を依存せざるべからざる以上交通殊に鐵道と終端港灣ならびに海運施設の整備の如何は直ちに滿洲國家產業の開發を抑止し產業興廢の死命を制するものと謂はざるを得ない

而して近代交通機關の發達は產業勢圈の確定に著しい變革を齎したのである、即ち世界各國海上雄飛時代において本國の原料獲得は原料供給地の比較的海港に近き背後地に限られてゐたのである、然るに近代交通機關の出現は海港と奧地との結合を促し孤立的植民地產業を一躍世界經濟的產業圈內に合流せしむるにいたつたのである、例へば印度の如きは早くよりベンガル炭田の開發をみたるに拘らず交通の不備は莫大なる石炭資源を擁しつゝ尚且つ英本國ならびに南亞弗利加の石炭を輸入せざるを得ざりし時代があり更にその農業についても久しく孤立的產業に過ぎざりし處一八四六年の合衆國の棉花饑饉は英政府をして印度棉花の栽培を企圖せしめ鐵道の敷設となり終端港灣の改築となり爾來鐵道は延長し棉花は增大し終に孤立印度の農產は完全に世界經濟的產業圈に合流せしめられたのである

而して現時の產業と交通機關の發達とはブロック經濟をますます密接にし優秀なる海運により結合せしめられたる本國と植民地との鐵道により渾然たる產業の分野をすら現出せんとしてゐる

滿洲の交通が滿洲國產業の孤立性を排し世界經濟的價値を附與することは世界各國の歷史と何等異りたるところなく却つてその地理的條件ならびに經濟的看點よりみるときは產業と交通との結合價値のより大なるを知り得るのである

以上の如く滿洲國產業の開發に對し鐵道を根幹とする交通機關は不可缺の條件であり、而して兩者は相依り相扶けて未知の鑛山の顯現となり未耕地を豐穰無比の沃野と化す可きことは幾多歷史の實證し來りたるが如く明かである

×　×

顧つて滿洲においては新事態に對應し確固たる信念と整然たる統制の下に鐵道計畫が樹立せられつゝあるをもつて米國の如く鐵道會社の濫立により多くの廢線を生ずるが如き若しくは英國の如く鐵道會社の濫立により有事に際しこれが統制に困却し統制委員會を設立するが如き濠洲の如く軌間の不同により海港に出るに六七回もの貨物積換を必要とするが如き懸念はない、海港を起點とし奧地に走る鐵道とこれを縱に結合する鐵道と之等を培養する自動車路線との魚網狀の整然たる交通網は滿洲國產業開發に資するもの大なるものがある

而して更に制度と組織の整備をもつて滿洲國產業開發の鐵道の機能を補强したのである例へば昨年十月斷行せる鐵道總局による全滿鐵道の一元化ならびに昨年二月の運賃制度の改正これである、就中運賃制度の改正は直ちに產業開發に最銳敏なる影響をおよぼすものなるが故に特にこの點に留意したのであつて殊に昨年二月の運賃改正は遠距離遞減法の採用ならびに擴張および奧地開發特定運賃を設定し一意滿洲國產業開發を目標としたものに外ならない、右による社、國線の收入減は大體五百六十萬圓と推定され相當大なる犧牲なるも遠くは歐米拓植鐵道の近くは隣接諸鐵道の示したる如く軈ては奧地產業の開發となり新物資の流入となり產業と交通との共存共榮を招來すべきものと確信したるに外ならない、而して現時交通機關の發達は次第に產業の地域的分野を決定せんとしてゐる、從つて日滿兩國の如き近接せるものにおいては打つて一丸としたる產業分野を決定すべき時期も遠き將來に非らずと思料する

かくして滿洲國の未開資源を開發し名實共に眞に日滿共存共榮の實を擧ぐるの使命は一に交通網の擴充整備によらざるを得ないものと確信する

商況欄（一月八日前場）

海外經濟電報

品目	相場
倫敦銀塊	二十一片一六分五
同 金塊	一四二志一片八分一
紐育銀塊	四五仙二分一
孟買銀塊	五二留比二分一
米英爲替	四弗九仙四分一
米日爲替	二八弗四六仙
米支爲替	二九弗八五仙
スチール株	七九弗八分一
アナコンダ	五四弗八分五
英日爲替	一志二片[illegible]
英支爲替	一志二片三分[illegible]
日印爲替	七七留比〇〇

▲米棉
限月	相場
現物	一三仙〇七
一月限	一二仙三六
三月限	一二仙四七
五月限	一二仙三五
七月限	一二仙二五
十月限	一二仙一三
十二月限	一一仙九〇

▲印棉
品目	相場
ブローチ	二三九留比
オームラ	二〇七留比
ベンゴール	一七七留比

▲市俄古小麥
限月	相場
五月限	一弗三三仙二分一
七月限	一弗一七仙八分一
九月限	一弗一四仙〇〇

▲カルカッタ麻袋
品目	相場
寄筋	二二留比四分一
鐵筋	二四留比四分一

金銀市況
●上海標金　昨引 一三五三、〇　本寄 一三五五、〇

爲替相場
▲上海爲替 ▲日本向
回	賣	買
第一回	一〇四、三七	一〇五、〇七五
第二回	一〇四、六二五	一〇四、八七五

▲倫敦向
回	賣買
第一回	一志三片三分一六分九
第二回	[illegible]

▲紐育向
回	賣買
第一回	二九弗四分三
第二回	[illegible]

▲大連爲替 ▲上海向　一〇三、三七五

▲阪神日米爲替　第一回　二八弗八分一五分一

▲阪神日英爲替　第二回　一志二片一六分三〇〇

地株式市況
▲東京株式（短期）　寄付　高値
銘柄	寄付
東新	一三一、九〇
鐘新	二〇六、九〇
滿鐵新	六〇、六〇
大新	八六、〇〇

▲大阪株式（短期）　寄　引
銘柄	寄	引
大新	八六、〇二	八六、七〇
東新	一三一、八〇	一三一、八〇
鐘新	二〇七、三〇	二〇九、八〇
日產	八〇、三〇	八〇、七〇
日書	六七、三〇	六八、四〇

▲大連株式（短期）　寄　引
銘柄	寄
五品	一六、〇〇
豆新	二二、一〇
銭鈔	—
東新	一三三、一〇
滿鐵新	六〇、四〇
二新	八八、六〇
日產	八〇、三〇
鐘新	二三、〇〇

▲奉天株式（短期）　寄　引
銘柄	寄
滿取	一三六、五〇
東新	一三四、一〇
大新	八六、〇〇
日產	八〇、三〇
五品	一六、〇〇
豆新	三一、〇〇
鐘新	二〇、一〇
滿優	二〇、二〇
同甲	六〇、八〇
電乙	—
河拓	三五、四〇
東興	二三、三〇
滿譽	二三、八〇
日亞	二七、三〇
東	六七、八〇

各地商品市況
▲大阪棉糸　寄付　大引
限月	寄付
一月限	二六九、〇〇
二月限	二六一、三〇
三月限	二六二、八〇
四月限	二六〇、〇〇
五月限	二六六、三〇
六月限	二六五、三〇
七月限	二六二、三〇

▲大阪棉花

新京取引所市況（一月八日前場）
現物　寄　引（一石値段）　出來高
品目	寄	引	出來高
大豆	一五、九〇	—	一車
高粱	—	—	—
小豆	—	—	—
玉蜀黍	—	—	—
包米	—	—	—

●大豆
限月	寄	引	出來高
一月限	六、五四	六、七〇	三一九車
二月限	六、七四	—	一車

●高粱
限月	寄	引	出來高
一月限	五、二一	五、一七	四車
二月限	五、四八	五、四一	四車

各地特產市況
▲大連大豆　寄付　大引
限月	寄付	大引
袋入一月限	七、四〇	七、三一
二月限	七、四〇	七、三二
三月限	七、三八	七、三三
四月限	七、四四	七、五七
五月限	七、五〇	七、六一
三等現物	七、一五	七、二六

●同豆粕
限月	寄付	大引
現物	二、一九〇	二、一九五
一月限	二、二〇〇	二、二〇〇
二月限	二、一〇〇	二、二〇〇
三月限	二、一〇〇	二、一〇〇
四月限	二、一〇〇	二、一〇〇
五月限	二、二〇〇	二、二〇〇

●同豆油
限月	寄付	大引
現物	二四、七〇	二五、二〇
一月限	二四、五〇	二五、三〇
二月限	二四、六〇	二五、三〇
三月限	二四、七〇	二五、一〇
四月限	二四、七〇	二五、一〇

▲大阪人絹
限月	寄付	大引
當限	七三、七〇	七三、八〇
當限	七七、一〇	七七、一〇
先限	七九、四〇	七九、五〇
先限	七七、七〇	七七、一〇

土曜　丙申　先勝　危　氏宿　舊十一月廿七日

●一白の人　氣運尋常なれど上下內外の反目を防ぐべし　甲と乙と丁が吉
●二黑の人　平素の德望は益自己の進展すべき鍵となる　庚と壬と癸が吉
●三碧の人　我慢にも辛棒にも氣力挫れて能率擧らぬ日　甲と丁と辛が吉
●四綠の人　利害を念頭に置かず正道に依り進むべき日　甲と乙と丁が吉
●五黃の人　高潔なる精神は終に認められて地位高まる　庚と壬と癸が吉
●六白の人　勘定高きは人に卑しめらる我利一點張は凶　丁と庚と壬が吉
●七赤の人　福神身に纏はること影の形に添ふが如き日　丁と壬と癸が吉
●八白の人　意圖大に進展す起業建築移轉緣談吉兆あり　庚と壬と癸が吉
●九紫の人　矢種は盡き城明け渡しの悲痛なる狀を呈す　申と辛と寅が吉

新京日日新聞
朝刊
【本紙朝夕刊十二頁】
本紙定價　一部五錢　一ヶ月壹圓五拾錢
廣告料金　普通一行　壹圓五拾錢　特別一行　貳圓五拾錢
發行所　新京永樂町四ノ一　新京日日新聞社
電話　編輯局專用(3)三二三五　營業局專用(3)三三〇〇
發行人　十河榮忠
編輯人　松本勇
印刷人　水越內之介

ソ聯邦赤化の魔手 印度北境地方に伸ぶ

新疆省内黨員の策動頻り 英國人心の不安募る

【ロンドン七日發國通】國際共産黨は表面一國社會主義建設の旗幟を揭げてソ聯邦內に共産の實現を企圖すると共に所謂コミンテルンルートを辿つて支那、印度等の赤化を目論み既に新疆省の赤化工作を完了し逐次印度の北端東北國境諸州に觸手を伸ばしてゐるといはれる、デーリーメール紙ボンベイ特派員は七日の紙上において左の如く印度北方赤化の危險を指摘し共産主義の脅威を說いてイギリスの輿論に警鐘を亂打してゐる

共産黨は新疆省をソ聯邦の一地方とする意圖のもとに赤化工作に躍起となつてゐるが一九三六年三月モスクワから共産黨の手先約六十名が新疆省に乘込み共産主義分子を助けて省內におけるソヴィエト政權を確立、赤軍建設に努力してゐる、さらに新疆省から印度に向つて目下道路網がしきりに開設されてゐるが、共産黨分子が漸次省內外の交通機關を占據するに至つた

印度東北國境諸州は印度の極左分子の策源地で印度政廳も同地方の統治には屢々苦い經驗をなめてゐるだけにデーリーメールの報道はイギリス人心に相當の不安を與へてゐる樣子である

義勇軍派遣禁止要求に 獨政府、英佛に回答

【ベルリン七日發國通】ドイツ外相ノイラート男は七日午後六時十五分ベルリン駐劄英國大使フイリップス氏ならびに佛國大使ポンセ氏に對し外務省に出頭を求めスペインに對する義勇軍派遣禁止案に對し左の如き回答を手交した

ドイツ政府は今次の提議に對し原則としてこれを受諾するに吝かでないが、不干涉の宅旨を貫徹するためつぎの條件を提出する

一、他の關係國政府も同樣の態度をとること
一、內亂に對する間接干涉問題を即時解決すること
一、不干涉監視は無條件の實行を期すること

最後にスペインにある外國人戰鬪員ならびに政治的煽動者宣傳者等を一切本國へ召還することを要求する、且つ依然間接の干涉が禁止されぬ場合はドイツ政府としても自己の態度につき再考することを留保する

マドリッド攻防戰 大激戰を展開

政府軍の死傷多數

【アビラ七日發國通】マドリッドの攻防戰は年明けとゝもに再び活潑となつたが戰鬪は六日最高潮に達し、本年最初の大激戰を展開した、この日の戰鬪で革命軍は著しく戰果を收め南軍は十キロ、西軍は六キロ夫々追擊し政府軍は多數の死傷者を出した、市民も革命軍の首都進入近きを觀念し續々避難を急いでゐる、七日の各新聞紙の如きは婦人兒童は一人と雖も砲彈の下に置くなと書き立てゝゐる有樣でマドリッド市は再び革命軍の

平戰兩時の重要國策(1)

對滿移民廿年計畫

大量移民の必要性

滿洲移民は何故急速に斷行せねばならぬか？又大量移民を必要とする所以はどこにあるか？いまそのよつて來るところを考察するに大體四大理由をあげることが出來る

先づ第一には國防上の理由である、在滿日本人の增加は滿洲國內治安維持に對して大なる效果を齎すであらう しかして在滿日本人が增加すれば有事の際における後方連絡線を確保するに貢獻するところが大きい、かつ又その增加の結果は平戰兩時を通じて各種軍需品調達上に多くの利便を與へることゝなる、要するに滿洲移民の大量送致は國防上よりみれば在鄕軍備充實と一體をなす問題である

第二の理由は內地農村問題解決にある、すなはち過少耕地、過剩人口を解決するに最適の方法は移民である

第三の理由は滿洲國內五族協和强化の上にある、この滿洲國建國の理想を實現するためには國家觀念旺盛にして道義心强き多數の大和民族を送致し、もつて五族協和の中核的指導勢力とし、各般にわたつて實質的活動發達を促進する必要がある

第四の理由は滿洲國の產業開發上にこれをみる事が出來る、すなはち滿洲國の產業開發には日本の資本および技術のほかに勞力を必要とすることは明白である、農業林業および牧畜等の開發には山東苦力に代つて日本農民の技術および勞力に依らねばならぬ、康德二年以來滿洲國が山東苦力の入滿を制限してゐるのも亦これがためである

先づ五ヶ年十萬戸

昭和十一年七、八月にわたつて行はれた日本の重要國策閣議は審議を重ねること約二ヶ月同八月廿五日漸く終結を告げ、七大國策十四項目を決定し、その中に「對滿移民政策」は「對滿投資の助長策」と共に採決された

拓務省案として提出されたこの移民國策の大綱は廿ヶ年間に百萬戸「五百萬人」を滿洲に移住せしむる大計畫であつて、陸軍省はじめ關係各當局との協調に基く大事業である、これが重要國策として採用されたことは日本の國策はもとより滿洲國の發展に對しても大なる貢獻をなすものであることはいふまでもない

上記の國策決定に引續き拓務省はさらにこれが實踐計畫として五ヶ年間に十萬戸の移植計畫を樹立し、その成案に基き差し當り昭和十二年においては豫算九百七萬圓をもつて、一萬戸移植を實施せんとしたが、大藏當局はこれ容認せず、遂に四百九十八萬圓（六千戸移民）支出をもつて事務的折衝は打切られた、しかして右に關聯し拓務省ではあくまで對滿大量移民の素志をとげんがため、十二年度乃至十六年度に至る五ヶ年間十萬戸移民の實行を强硬に要求し、陸軍當局の全面的支援を得てこれが根本方針を承認せしめ、こゝに對滿移民五ヶ年十萬戸計畫の實踐細目が左の如く決定された

對滿移民五ヶ年計畫入植年度割

▲昭和十二年度＝集團移民五、〇〇〇戸、自由移民一、〇〇〇戸、合計六〇〇〇戸
▲昭和十三年度＝集團移民一〇、〇〇〇戸、自由移民五、〇〇〇戸、合計一五、〇〇〇戸
▲昭和十四年度＝集團移民一五、〇〇〇戸、自由移民六、〇〇〇戸、合計二一、〇〇〇戸
▲昭和十五年度＝集團移民二〇、〇〇〇戸、自由移民八、〇〇〇戸、合計二八、〇〇〇戸
▲昭和十六年度＝集團移民二〇、〇〇〇戸、自由移民一〇、〇〇〇戸、合計三〇、〇〇〇戸

初年度經費の內譯

拓務省の昭和十二年度豫算のうち滿洲移植民費は既述の如く四百九十八萬圓であるが、その內譯概算は次の如くである（單位千圓）

費目	金額
指導監督費	一七八
移植民保護獎勵費	一五六
移住地調査費	一五〇
試驗移民費	三三〇
集團移民費（既送出分六二四、新規送出分二、三三三）	三、〇〇〇
指導員及基幹移民養成費	三三五
自由移民費	三五〇
移民訓練所補助費	一二五
滿洲移住協會補助費	一〇〇
內地訓練所補助費	一〇七
その他	二六〇

拓務、現地の準備工作

かくの如く昭和十二年度は四百九十八萬圓の豫算をもつて六千戸（集團移民五千戸、自由移民一千戸）を滿洲に移住せしめることに決定したが、拓務省においては直ちに移民先遣隊の募集その他これが準備に着手すると同時に、新年度を期し東亞課の機構を擴大强化し、從來の東亞課を二課（東亞第一課および第二課）とし、移民計畫遂行の完璧を期することになつた、なほ現地における移民の指導監督に當るべき拓務省新京出張所には常駐の勅任書記官を設置することを正式に決定したが、そのほか敦賀、新潟、羅津間に移民輸送の定期命令航路の開設方を遞信省に要請するなど滿洲移民計畫遂行に萬全を期してゐる

試驗的移民時代は過ぎた、その成功性も既に過去の經驗によつて確實となつた、その結果大々的に實踐計畫に入ることゝなつたがこれに對する滿洲國現地側の準備は如何に進捗しゐるか、その概要をみるに次の如くである

一、康德元年四月北滿洲東部において百萬町歩（內可耕地七十萬町歩）を日本人農民移住用地として、滿鐵の傍系會社たる東亞勸業會社の名儀にて取得した（百萬町歩の土地は日本の四國全島に匹敵する

二、康德二年度滿洲國政府は支那より苦力の入滿を一年四十五萬人に制限してこれが實行に努め、さらに康德三年度においてはこれを一年三十六萬人（九萬人を減少したのは前年の入滿者が約九萬人滿洲に殘留した爲）に制限し、もつて滿洲國に來住する支那人の數を極力減少せんとする方針を堅持してゐる

三、康德三年一月資本金一千五百萬圓の滿洲拓植株式會社（滿洲國特殊法人）を設立し、前記百萬町歩の移住用地の權利を繼承し、入滿する日本內地人農業移民に對し低利資金の融通をなしてゐる

四、康德三年春滿洲國は民政部內に拓政司を設け、滿洲での移住に關する事項を專掌せしめてゐる

五、廿ヶ年百萬戸內地人移民（一戸五人として五百萬人）の滿洲移住に對し、先づ移住地一千萬町歩の確保につき準備を進めてゐる

六、昭和十一年十一月滿洲國政府は「暫行農業自由移民取扱規則」を公布して農業自由移民に對する助成手段を講ずることゝなつた（後述）

外國爲替管理法に基く 大藏省令の制定

臨時應急措置□□馬場藏相談

【東京國通】大藏大臣談＝最近見越し輸入の增加傾向は相當顯著となり、これに伴ひ外國爲替銀行における輸入爲替の取極もまた激增を示すにいたつたが斯樣な狀態が長引くことは本邦爲替の將來に面白からざる影響を與へるやも圖り難いのでこゝに臨時應急の措置として當分の間輸入貨物代金の決濟に關する爲替取引を許可事項とし、かつ海外における不當なる圓賣りを防止するの主旨よりして外國爲替管理法に基く大藏省令を制定しもつて本邦爲替の安定を圖り現在の爲替水準の保持を期せんとした次第で、これが實際の運用に當つては最も愼重なる態度を執り、本邦產業ならびに貿易上に障害を與ふることなきやう最善の注意を拂ふ積りである、なほ本省令は臨時應急の措置であるから本年七月卅一日限りこれを廢止する豫定である

八日の市場は 氣迷狀態

【東京國通】八日の爲替市場は當日より爲替管理大藏省令の實施とゝもに市場は氣迷ひ大混亂に陷り、輸出入業者共に前途の見透し區々で取引は梗塞狀態を呈しレートも殆んどノミナルの形となつてゐる

即ち當日の入電は米英クロス四弗九十一仙卅二分の七と不變ながら米日は五仙安の廿八弗四十六仙と、外國市場における今回の省令に對する批評を示してゐるが市中の稱へは概して前日と保合、對米は今月廿八弗八分の三賣り、同十六分の七買で、來月廿八弗十六分の五賣り同八分の三買ひが一般であるが、期近スペシヤル・セラーには廿八弗十六分の七の稱へが出現して幾分强調を示してゐる、一方對英は今月一志一片八分の七賣り同十六分の十五買ひ、來月一志一片卅二分の廿七賣り、同八分の七買ひと激變、正金の建値は對米英共に据置かれた

軍閥に陷つた 親ソに轉向？

芬蘭外相ソ聯訪問

【ヘルシンキ七日發國通】フインランド外相ホルスティイ氏は近くモスクワを訪問、外務人民委員長リトヴィノフ氏以下ソ政府首腦部と會見するに決定した、フインランドは從來主としてナチス・ドイツと緊密な關係を維持し反ボルシエヴイズム體制とブロックをなしてゐたが、ホルスティイ外相は熱心な親ソ主義者として知られ、今回の訪問において最近實力向上したソ政府との接近を策するとみられる

潜水艦使用制限 白國參加を通告

【東京國通】ロンドン條約第四編の潜水艦使用制限條項は昨年十一月六日調書の形式で日、英、米、佛、伊五ヶ國間に調印を了したので、招請國たる英國政府より各海軍國に對し參加方を要請中であつたが、ベルギー政府は五日附公文をもつて英國政府に正式參加を申込んだ旨英國政府より吉田駐英大使に通告あり、この旨外務省に公電があつた

鴨綠江岸都邑への 郵便速達化實現

日滿當局に覺書交換

鴨綠江水路協定の覺書調印は十二日京城において擧行されるが、平井出郵務司長は同調印式出席を機に、かねて交通部、朝鮮總督府間に協議が進められてゐた鴨綠江岸における滿洲國都邑への郵便速達化につき總督府遞信局と最後的折衝をとげ、近く滿鮮事務當局長官の間に覺書の交換が行はれることになつた

即ち鴨綠江の滿洲國側都邑向國內諸都市よりの郵便は、現在通化又は安東を通過して配達されてゐたが、著しく遲延するので交通部では總督府との協議の結果、鴨綠江朝鮮側沿岸に運行してゐる郵便自動車を利用して新義州を通過して逆に朝鮮側より配達せんとするもので、その結果郵便物は從來より約一週間も早く速達されることになり各方面より期待されてゐる

中南米諸國は 日獨防共協定に贊同

【ハヴアナ七日發國通】ハヴアナ「キューバ」七日ハヴアナのマリノ紙は六日の社說において日獨防共協定を論じ、大要次の如く述べてゐる

日獨防共協定成立は時節柄當然であり、ソ聯隣接國政府が協定に參加することは時期の問題であらう、中南米諸國は現に大部分共產主義取締法規を有してをり、右協定の主旨には當然贊同するであらう

警視總監更迭

【東京國通】政府は八日の初閣議で左の如く警視總監の更迭を決定した

依願免本官　警視總監　石田馨
任警視總監（一等）　廣島縣知事　早川三郎
任廣島縣知事（一等）　三重縣知事　富田愛次郎
任三重縣知事（二等）　茨城縣知事　安藤狂四郎
任茨城縣知事（二等）　東京府書記官（總務部長）　林信夫

長谷川司令長官 小林總督訪問

【臺北國通】長谷川第三艦隊司令長官は八日午前八時基隆入港、直ちに臺北にいたり、小林總督、畑軍司令官を訪問後草山貴賓館に入つた、十二日馬公に向ふ豫定である

三井壽太郎男

【東京國通】男爵三井壽太郎氏は舊臘腎臓病を患ひ療養中のところ七日午後一時半麹町區三番町の自邸で逝去した、享年六十四

人事往來

▲加藤朝鮮銀行總裁　八日來京ヤマトホテル
▲稻村宗一氏（材木商）同中央ホテル
▲清岡文一郎氏（滿蒙毛織會社）同
▲齋藤繁信氏（會社員）同
▲濱弘氏（材木商）同
▲藤原健二氏（奉天國道局）同
▲橋本太洋氏（永順洋行員）同都ホテル
▲鎗崎金藏氏（吉林總領事館警察署）同吉林へ

航空往來

▲布重雄氏（電々）八日發ハルビンへ
▲野間三西氏（同）同
▲河合靜男氏（會社員）同奉天へ
▲桜中男氏（官吏）同開魯へ

偶語

日本橋通新京百貨店前の東公園は今まで公園とは名ばかりで▼何の設備もなく夏ともなれば支那人ルンペンのよき晝寝場所となつたり▼一部の人々の金儲け場所となつたりして尠からず不愉快を感じてゐたが▼本年は解氷を待つて滿鐵で大々的に公園として手入れをする計畫を立てゝゐる、同公園內には伊藤公記念館といふ支那式の平家建の建物が一軒ある▼伊藤公が哈爾濱で毒手に倒れる前この建物の中で適合の招宴があつて寄られたので▼爾來滿鐵ではこの建物を伊藤公記念館として保存して來たものだが▼何等伊藤公の遺品があるでなし單に一寸立寄られたに過ぎない▼そこで本年は此の建物を改築して伊藤公遺品の二三だとか滿洲事變の記念品のやうなものを揃へて▼小さな博物館といつたものを造らへるといふことだ▼一方市民の有志間に伊藤公の來長を永久に記念するため銅像建設の議が起り話が實現化して來た▼これを機會にいつそのこと公園の名稱も伊藤公園とでも改稱したら▼國都名所の一つとしてより一般の記憶に殘るであらう

社説

西安妥協の背後
人民戰線派と國府の今後

一

西安事件の一應の結着が餘りにあつけなく行はれたことは一般に不審の念をもつて觀られてゐたところであつた。果然、その間に隱された妥協條件の存したことが明らかとなつた旨が報ぜられるに至つた。その條件といふものの中に、注目すべき項目として蔣介石氏は抗日に贊成するがその實現には準備を要するが故にこの間英、米、ソ聯、佛等との接近をはかる、また共産黨との表面的合作は行はないが共産軍討伐を中止しその活動方向を指示する、更に中央政府の改組を行ひ親日派と目せられるところの要人を中央要職より罷免する等の諸項がある。

二

以上の事が事實であるとすれば、日本の好意的態度に感謝する等と言はれていい氣になつてゐた連中は、全くの認識不足であつたことを知らねばならなくなる。妥協條件が支那人民戰線運動を指導する一方の大立物たる宋慶齡の起草にかゝり、宋子文、ドナルド等に承認されたものであるとの觀察は、結局西安事件そのものがこれらの連中によつて計畫された抗日戰線擴大の大芝居であつたことを結論せしめる。かくて一部の論者が今次事件の結果として各所に從來外面的に單一化されてゐた人民戰線と國民戰線との對立が激化して來たとなした如きは、實は皮相の觀察であつたとなさねばならないであらう。伸縮性に富んだ人民戰線運動が一つの地方的軍義勢力の代表者であつた張學良を踏石にして今後の國民政府內部に有力な發言權を獲得したといふことがこれまでの事實の重要點であらう。

三

南京政府としては、妥協條件の悉くを急速に實行し得るやうな事情には置かれてゐず二月十五日から開會される三中全會がこれに關しての重要な決定を行ふであらう。全體的に見れば綏遠問題及び北支問題等に關して抗日政策の展開を期するに至るであらうとの豫測が持たれざるを得ぬ。蔣政權十年の推移を回顧するとその目指した諸事業は大體に於いて所期通り遂行されて來たのである。南京の側から見て殘るところは北支の特殊性を解消させ、原狀を回復することゝいふ一段のみであると言へる。この問題の本質は日本に對しての問題である。而して彼の考ふるところは、抗日氣勢を高揚して國家の整頓を圖り軍備を擴大して行けば押して成し遂げ得るといふ信念では無からうか。人民戰線派の乘出しと北方問題の推移は今後の注視を要する支那問題中の重點であるとせねばならぬ。

待望十二年の政、財界に躍る人々（上）

鈴木茂三郎

（一）

昭和十二年の政界や財界の動向はどういふふうな動きをみせるであらうか、それによつて政界や財界の第一線に躍る人物に多少の浮き沈みがあるであらう

振り返つて昭和十一年はどうであつたかといふと、初春の議會は政黨が官僚や軍部を迫つて議會は解散され總選擧を通じて政黨の頭上に勝利が輝いたやうに見えた瞬間、二・二六事件の突發によつて政黨は一歩前進せんとして二歩退却することを餘儀なくされ、晩秋に至つては政黨に止めを刺さんとする行政機構改革の爆彈が投ぜられ、どつちみち三歩も四歩も退却しなければならないところに追ひ詰められたのである、政界はかやうに官僚や軍部に支配的位置を占據され、政黨の活動舞臺が極度にせばめられたのであるが、これに比べると財界は政界や社會や文化やその他あらゆるブルジョア機構の土臺を爲してゐるだけに官僚や軍部か、やすやすと政界の舞臺から政黨を蹴落したやうにはいかない、假に彼等が財界をも占據する途は、政治權力によつて金融や産業の機關を國家統制のもとに移すことこれが唯一の途なのだが、昨年は二・二六事件後の特別議會で農産物や諸産業に對し、若干程度の統制を利かせた諸法案を實施したほか電力の國家管理案をつくつて財界の心膽を寒からしめた位のもので、政界ほどには官僚の手入れが未だ行はれてはゐないのである

ところで本年はどうであらうか、國內に突變がおこるとか、國境に事變でもおこらない限りにおいては政憲が失地恢復のために春の通常議會の舞臺に大見榮を切つて政界に一歩前進するであらうといふことは至極見易いことである

此所で押し返さなければ二大政黨は全體として官僚や軍部の玄關にかしこまつて靴の紐を解くまでに落ちぶれるか、これをいさぎよしとせざるものにより二大政黨をぶち割つて七花八裂することになるであらうと言つても政黨が、どの程度に押し返へすか、體當りでも一つ喰はせる位の踏んばりでなければ一歩だつて押し返へせるものではなく、いつもの小手先の藝當では政黨の失地恢復は覺束ないのである

安藤正純

（二）

ところで民政と政友は、拔く手も見せず無産黨に一太刀を浴びせ、返す刀で官僚と軍部に秋の薄の白穗の如く白刃をそろえて肉薄する策戰のやうだが、形式だけは與黨內閣なので主としては官僚攻撃に集中するらしく政友會の新幹事長安藤正純氏、民政黨の大幹事長永井柳太郎氏は兩氏ともいはゆる自由主義者なのでその活動が待望される、殊に政友會は多年陰うつな存在であつた久原房之助氏が失格して黨內における鳩山氏一派の位置が強くなつたゞけに鳩山氏直參の安藤氏にとつてはこゝがさえた手腕の見せどころである

永井柳太郎

或る政界の飛客が飛行機王をもつて自認する中島知久平氏を訪ねて「あなたもいつまでも政友會の總務でもあるまい、こゝらで腹を決めて政友會を脱退してはどうか、でないと大臣になり損ふ」と水を向けたところ、彼は憤然として「外國では、ずつと豪い人は大臣にはならないさうだよロボット內閣の伴食大臣などは御免を蒙る」と氣慨のあるところを示したといふことである、彼だとて大臣になりたくないことはあるまい、實際はなりたくてうづうづしてゐるのであらう、だが官僚や軍部の靴の紐を解かなければ大臣になれないとあつては、彼たらずとも憤然たらざるを得ないといふのは些かでも議會政治を想ふのにとつては尤もな氣慨であつて、かうした感情はほうはいとして二大政黨の內部に醞釀されてゐる、議會のやうなところでは何んといつても豫算關係の財政通と稱せられるものゝ舞臺が華がにみえるので政友の大口喜六、堀切善兵衞、砂田重政、民政の勝正憲、田中貢氏等の奮戰ぶりが目醒しいに相違ない、政友には中島（彌）勝、田中氏の少壯揃ひで小川商相につぐ大物がとぼしい、しかしながら今日の政界に活躍して、明日の政黨を背負つて立たんとするものは、二大政黨の下層に下積みとなつてゐる少壯派の

中野正剛

政友會についていへば國策研究會に集つてゐるやうな面々ではなからうか、政友の芦田均、星島二郎、船田中、木村正義、民政の田中貢、大麻唯男、森下國雄、喜多壯一郎その他第六十九特別議會以來かうした少壯派の活躍となるのであらうが、かうしたところに政黨勢力の重心が移つて來なければ、官僚に占據された政界の支配權を政黨の手に恢復することはむづかしくはないかと思ふ

また東方會系の中野正剛、杉浦武雄、國同の風見章氏等の活動、無産黨の加藤勘十、河上丈太郎、三宅正一、片山哲、黒田壽男、松本治一郎、水谷長三郎氏等の活躍も、政界における反對派の立場から注目すべきものがあるであらうが、國民の一般が彼等に期待してゐるところは、政友、民政の進歩的な少壯派と提携して、政界を縱斷するところの一大勢力となつて、議會政治の明朗、官僚政治の打倒、軍事豫算の批判、國民生活の安定、大衆課税の反對、かういつた五つ位の大きな目標のために闘つてくれること、そこに國民の眞實の期待があると思ふ

航空躍進時代

航空研究所々長　工學博士　和田小六

新たなる年を迎へてわが航空界はさらに大いなる躍進が期待される、この時に當り聊か所懷を述べてわが航空界の正しく着實なる發展を願はんとするものである

□

獨逸空軍の躍進、伊太利空軍の威力は、昨年度において確かに英國の空の守りを脅かした英國空軍の整備はその保守的國民性の影響をうけて他國に一籌を輸する有樣であつたしかして歐洲國際情勢の逼迫は英國空軍をして劃期的擴張を決意せしめた、この英國の航空インフレーションの秋に當つて空軍の統帥ロード・トレンチャードは「優秀な空軍の一隊は群がる劣質の敵を恰もナイフでバタを切る如く手易く切り開いて進むことが出來るであらう」と述べて、空軍の強みは量より質にあることを强調した、自明の如くにして意味深き言葉である

由來わが國は一騎當千、質をもつて量を制するを國防の本義として來たのである、このことは航空においても特に强調さるべきである

□

文化の進展は空間と時間を短縮する、それは速度の問題であり、そこに飛行機の將來がある、佛國の飛行家ジャピーは舊臘既にパリ、日本間を三日の空の旅に短縮した、今日の飛行機の能力は既にその活動舞臺を廣く世界的としてゐる、航空の平和的利用は、それが世界的でない限りは發達の望みはない、狹い日本內地の航空などはいくら發達させたとしても知れたものである世界の强豪を相手として戰つてこそはじめてわが航空を充分に發達せしめ得るのである

□

「優秀な空軍の一隊」は決して空軍のみの問題ではない、交通に、商業に、その鋭い鋒先の向ふところ敵はないのである

「優秀な空軍の一隊」に優秀なる乘員、優秀なる飛行機および優秀なる訓練から生れるのである、腕の冴えは鈍刀にても、正宗の切味を出すことが出來ても、結局腕の冴えと正宗の和に及ばぬことは明かである優秀な乘員と猛訓練はわが國の誇である、が優秀な飛行機は如何にして得られるか、之は今日目前の問題であるとゝもにわが航空界百年の計を樹つべき將來の重大問題である一體、何故飛行機を作ることがそんなに難しいかといふに崩し詰めれば、重量に極端な制限をうけてゐるからである輕くて丈夫なものを作らねばならぬからである、從來とても、物を輕く作るといふことはいろいろの點から望ましいことゝされ、エンヂニヤーの努力の目的であつた、しかしながら航空機に於る重量の制限は全く比較にならぬ程度のものである、今日航空機の工業に從事するものが等しく感ずることは、いまゝでの工業品が重量に關して如何に寛大に取扱はれてゐたかといふことであらう、航空機に關しては設計者の無智、工作の拙を蔽ふ安全計數……それはまた無智計數であり、重量の増加を意味する……も徒らに認めることは出來ないのである

かゝる特殊要求に對しては、事の根本から見直してかゝらなければ駄目である、眞似事や勘でやつてゆけるものではない、深い基礎から築きあげねばならぬことを正當に認識し一日も速かにその實行を決意することが第一である

□

木と布から出來てゐた飛行機が金屬の骨組と金屬板で作られるやうに進化した、金屬は木より重いから薄いものを使はねばならぬ、構造の强弱の問題は彈性的安定の問題となる、新たなる設計法、計算法が要求される、新たなる材料工作法が考究されねばならない、飛行機の速度が無暗と早くなる、空氣と飛行機の表面の摩擦の問題が重大事となつて來た、空氣の流動の根本的機構から表面工作の技術に到るまで新たな幾多の問題が解決されねばならないのである速度の増加、馬力の増加にともなつて振動が今後の飛行機の發達に對する一大問題となるであらう、振動の觀念を設計に如何に織込むかといふことは今後研究さるべき大目標であらう、出て來た振動を止めんとするのは既に拙である振動の無いやうに設計工作すべきである、豫防は治療に勝ることは古くからいはれてゐることではないか

要するに、飛行機の本體が明確にされねばならないのである、飛行機に起る彈性的不安定とは何か？流體の摩擦抵抗とは何か？振動とは何か？それが解らなければ暗中摸索である、徒らの模倣に過ぎない、敵狀を知らずして作戰は出來ないのと同樣である

そこに學術研究の必要が痛感されるのである、筆者は確信する優秀な飛行機を作らんとすれば須く大いに學術を振興すべきである、

但し學術の振興は單なる金や力で出來るものではない、又短時日を期して成しとげ得るものではない、學者の思索、研究、それは人の頭腦の中に生れ、環境によつて培れ、施設によつて實を結ぶものである、即ち學術を振興し、航空を進展せしめんとするために筆者はつぎの如く叫ばざるを得ぬ、……先づ人を得よ、環境を與へよ、而して研究施設を完備せよ！と

□

今日わが國航空界の現狀をみるに施設あつて人足らざるあり、人あつて施設これにともなはざるものがある、矛盾にあらずして何ぞ、まづ是正すべき點はこゝにある

□

とるに足らぬ因習に囚はれることなく、廣く智囊を全國に求むべきである、優秀なる飛行機はいはゆる航空專門家のみの力で完成し得るものではない、他の工業と飛離れて飛行機のみが健全なる發達をとげ得るとは考へられない、全國にわたる各方面の學者研究家の飛行機に關する認識と關心を要求せねばならぬ、而してこの全國にわたるブレン・トラストは、國民の學術に對する正當なる理解認識によつて支援されねばならない

かゝる基礎に立つてこそはじめてわが航空界は確固たるしかも躍進的發展が可能となるのであり、諸文明國に對して優秀を誇り得るに至るであらう、而してこれが國力の消長に關係するところ尠なからざるを思ふとき、充分に愼重考慮而して斷行すべきであると信ずる

貧弱な大經路署 愈よ新廳舍移轉
經費七萬七千圓年內竣工

首都警察管下各警察署で最後に取殘された南關、大經路兩警察署のうち大經路署が治法撤廢を明年度に控へてその名も〝同治街警察署〟と命名されて本年度中には興仁大路と同治街の交叉點表通りに移轉新築されることになり松島署長以下署員を喜ばせてゐる、現在の大經路廳舍は舊政權時代の公安局をそのまゝ使用してゐるもので內容外觀共に頗る貧弱、しかも警察事務執行上不便多く、國都の治安維持に任ずる警察署としては非常にお粗末なものである、解氷とともに着工され年內には竣成の豫定であるが經費は四道街警察署の三萬五千圓に比し七萬七千圓、建坪一千三百坪二階建の堂々たるモダン建築である、なほこの新市街への新築移轉と同時にその管轄區域に幾分の變更があるものと見られてゐる

大橋次長、近く歐洲視察

【東京國通】大橋外交部次長は舊臘上京以來有田外相その他外務首腦部と會見、重要協議を遂げ去る五日夜歸任の途についたが、滿洲國外交部では近時歐洲政情が極めて複雜化し一方滿洲國の對外關係も漸次多角性を加ふるにいたつたので大橋次長をヨーロッパ諸國に特派視察させることになり、同氏は近く外遊の途に上ることになつた

ジャバ航路 運賃引上げ

【東京國通】ジャバ航路同盟では昨年末往航運賃の三割引上げを決定したが積荷輻輳の現狀に鑑み更に復航運賃の引上げを行ふことになり、取敢えず圓建運賃の砂糖七圓五十錢を來る三月より八圓五十錢、來る四月より十圓に各々引上げを實施することに決定したが他のギルダー建復航運賃も同樣結局引上げとなる模樣である

沿線附屬地の小學校教員を大量增員

【大連國通】滿鐵沿線附屬地はもとより奥地に進出する日本人は近年目覺しい勢で增加し從つて學童もこれと並行して增加の一途を辿り、十二年度においては附屬地內外を通じて小學校の新設ならびに增級が大々的に行はれるが、學童の增加に應ずべき小學校教員は俄かに增員が出來ないため今や滿洲の日本人子弟教育は教員不足に惱む狀態となり滿鐵は本年四月の學年始めを期して小學校教員二百名の大量增員を計畫、內五十名は今春三月奉天教育研究所を出る者を配屬することゝして殘り百五十名を內地各府縣から招聘することゝなり、すでに各府縣に對しては昨年十月末十六府縣七名乃至八名の招聘方を府縣學務當局に折衝した、この招聘は來る廿日をもつて締切られることゝなつてをり今日までのところ應募したものは未だ一名もないが、締切までには定員に達するものと滿鐵では樂觀してゐる

滿鐵辭令

新京列車區車掌心得
職員　松井成德
同　齋藤弘二郎
同　清水和夫
同　平野近
同　花田光
同　山口亮
同　木村史郎
同　舟田三郎
同　林十平
車掌を命ず（十二月二十五日）

綿糸生產新記錄

【東京國通】（十二月中）紡績聯合會調査の十二月中綿糸生產高は合計卅二萬六千六百卅九梱と前月より八千二百梱の激增を示し新記錄を造つた、これが原因は各糸の採算良化に加へ十二月を限度とする生產調節規定を見越す各社の增錘計畫實現の結果である

日米綿業會商 十四日開始

【大阪國通】日米綿布協定締結のため目下來朝途上にあるアメリカ綿業視察團一行は八日午前五時郵船秩父丸で横濱に到着するが、わが綿業團體よりなる歡迎委員會では六日視察團滯在中の日程を發表したが、右によれば日米綿業會商は十四日より一週間にわたり大阪綿業會館において開催の段取りである

輝く歐洲留學に心勇む大和撫子二人

【東京國通】我等がヤンガーゼネレーションの輝かしきチャムピオンとして、世界の檜舞臺へスタートする女性がある、ボストンの博物館に職を奉ずる傍東洋美術を研究する鳥居龍藏博士の令孃みどりさんと、日伊交換學生としてイタリーに赴き、ローマ大學でムツソリーニ首相のファシズムを研究しやうといふ德澤けん子さんの二人である

德澤孃は新春早々日伊交換學生としてローマ大學に向け出發した、御茶水高女、同專攻科からアメリカのミシガン大學を卒業、外務省に勤めてゐたが今度白羽の矢が立つたのである、そこで彼女の氣焔

アメリカでは社會學をやりましたが、ローマ大學でも社會學をやりたいと思つてゐます、古い歷史を持ちながら最近のイタリーは最も新しい國です、殊にムッソリーニ首相を研究することは興味あることですわ、二年間位は滯在します

鳥井さんは父君考古學者鳥井博士の助手として又書家としても有名なお孃さんで、浮世繪については深い造詣を持ち東洋美術研究に熱情をもつてゐる、今回はからずも博物館のセクレタリーとして赴任することになつたものである、出帆は一月廿三日頃で、當のみどりさんは鼻菖の有樣で語る

私の仕事は浮世繪の型錄を作成することが主な仕事ださうですが「淸長」「春信」のもの等とても日本では見られないものが澤山あり、それに東洋の古美術品も澤山あるさうですからこれも勉強したいと思つてゐます父からも考古學の事で賴まれましたことがありますのでそれもやつたり仕事も抱負もどつさりあります

パリ、東京飛行のドレー氏 八日パリ出發

【パリ六日發國通】フランスの名飛行家マルセル・ドレー氏はコードロン・シムーン型の愛機を操縱いよいよ八日午後九時（日本時間九日午前六時）パリのリバブーゼ飛行場を出發一路東京へ向つて華々しき壯途に上ることゝなつた

武裝耐寒競爭 申込は早く

新京戶外週間本年最初の新しい試みである戰跡訪問武裝耐寒競走は各方面に異狀の人氣を呼んでゐるが參加希望者は十八日正午までに滿鐵事務局社會係へ申込まれたいと

本溪湖工業實習所新入所生募集

本溪湖工業實習所では新入所生四十五名を募集してゐる、探鑛土木科十五名、機械科十五名、電機科十五名、應募資格者は高等小學卒業者、中學校第二學年修了者及び南滿中學校第二學年修了者、入所願書受付期限は二月末日まで、考査は日本人（數學、國語（讀解、作文）滿洲人、數學、日本語口頭試問、願書規則書入用者は二錢切手封入の上申込まれたいと

商況欄（一月八日後場）

●上海標金　前引　二三四、五
●上海爲替　日本向　第一回買賣　一〇四〇〇　一〇四二五
倫敦向　第一回買賣
紐育向　第一回買賣　一志二片三二分七　一六分九
第一回買賣　二九弗一四分三　一六分三

株式相場

▲大連株式（短期）

銘柄	寄	引
五品新	一六、一〇	—
豆鈔新	二一、二〇	—
錢鈔新	—	—
東鐵新	一三三、七〇	—
滿鐵新	六〇、四〇	—
二産新	四八、五〇	—
日新	八〇、二〇	—
鐘新	二〇九、七〇	—
土木	—	—
新日産	三一、七〇	—

▲奉天株式（短期）

銘柄	寄	引
滿取	一三一、五〇	—
東新	一三五、一〇	—
大新	八五、六〇	—
日産新	八〇、三〇	—
鐘新	二〇八、一〇	—
五品	一六、一〇	—
豆新	二一、六〇	—
同新	四八、六〇	—
電甲	三五、七〇	—
東拓	三五、八〇	—
滿興	二七、一〇	—
滿毛	二〇、〇〇	—
優先	二〇、八〇	—
日晉	六六、〇〇	—

手形交換高（八日）

二一二枚　四六七、二九六、三七

新京取引市況

現物（一月八日後場）（一石値段）

品名	寄	引	出來高
大豆	—	—	
高粱	二、一〇	—	八車
小豆	—	—	
玉蜀黍	—	—	

定期（混合百斤値段）

品名	寄	引	出來高
大豆 先物			
一月限	六、七四	六、七六	一四車
二月限	—	—	
高粱	—	—	

鮮魚小賣相場（八日）百匁に付

品名	最高	最低
活鯛	一五六	六六
氷鯛	五四	三六
小鯛	七二	三四
連子鯛	二二	一八
チヌ鯛	二二	一八
アマ鯛	二五	一六
イセエビ	：	：
車エビ	九〇	：
ノリ	三六	三〇
ヒラス	四三	四〇
マナ	：	：
鮭	[illegible]	[illegible]
スズキ	[illegible]	[illegible]
サハラ	[illegible]	[illegible]
ニベ	[illegible]	[illegible]
サバ	[illegible]	[illegible]
アパデ	[illegible]	[illegible]
メバル	[illegible]	[illegible]
ヒラメ	[illegible]	[illegible]
コチ	[illegible]	[illegible]
コノシロ	[illegible]	[illegible]
ホーボー	[illegible]	[illegible]
キス	[illegible]	[illegible]
タコ	[illegible]	[illegible]
水蛸	[illegible]	[illegible]
飯蛸	[illegible]	[illegible]
カニ	[illegible]	[illegible]
甲イカ	[illegible]	[illegible]
サヨリ	[illegible]	[illegible]
アナゴ	[illegible]	[illegible]
アワビ	[illegible]	[illegible]
シジミ	[illegible]	[illegible]
ハマグリ	[illegible]	[illegible]
ブダリ	七二	六〇

早春の花・苑

［西公園にて寫す］

第二期建設に即應 合理的積極財政へ

康德四年度豫算に就て〔下〕

主計處長 古海忠之

歳出　豫算中新規計上されましたものを目的別に分類致してみますると、國防に關する經費一千七百三十萬四千圓、治安に關する經費一千八百七十六萬四千圓、產業開發に關する經費一千五百八十三萬二千圓、敎化に關する經費二百五十七萬一千圓、福利施設に關する經費五百十二萬五千圓、治外法權撤廢に關する經費二百九十九萬一千圓、國債並徵税に關する經費三百卅九萬圓、地方團體のためにする經費五百三十七萬三千圓、その他に百七萬圓であります

なほ中央財政と地方財政の調整合理化を圖り併せて地方行政の現地即應を期するために省地方費を設定致しました これは各部所管に計上する財源總額二千八百七十八萬圓に省固有の財源を合せまして三千五百萬圓程度に上る見込であります

また　これを前年度豫算額に比較致しますと二千八百六十九萬三千圓の出歳增加となりますがその主要なるものを申上げますと總務廳所管において營繕費一百三十萬圓（その內には本年よりいよいよ新しい宮廷府を造營致す考の下に準備費を計上して居ります）地籍整理事業費百六十萬圓（これは全滿の地籍整理事業を五ヶ年計畫をもつて實行せんとする一部であります）して、所要經費見込總額二千五百七十五萬に上り特に航空技術の進步に伴ひ發達致して參りました航空寫眞圖を利用して地籍圖を作製しやうといふ新しい試を加味致して居ります

民政　部所管において地方税の輕減のために二百五十一萬圓、法權撤廢費百三十萬圓、警察費百四十萬圓、移民關係費五十七萬圓縣歳入缺陷補助百二萬圓、街村指導費五十七萬圓衞生費五十六萬一千圓、熱河省鴉片附加税交付金三十五萬圓等であります

軍政部所管は士兵給與引上げ七十三萬四千圓治安隊費增加七十五萬圓（築城費百五十萬圓）馬政事業費七十三萬三千圓等であります

財政部所管は國債利息七十七萬九千圓、福民奬券百二十四萬五千圓、この彩票による益金は全部を擧げて民衆醫療機關の新設ならびに擴充に充當する方針を決定致しまして來年度豫算において福民診療所隔離病舍の建設ならびに公醫を設置する費用として百八萬圓を計上して居ります

農畜產五ヶ年計畫關係の經費としましては實業部所管に農產物改良增殖費百四十四萬三千圓、畜產獎勵費六十三萬七千圓、農業團體助成費七十八萬一千圓、招墾適地調査費十六萬六千圓、蒙政部所管に畜產獎勵費三十八萬六千圓、農業獎勵費二十二萬一千圓等を計上して居ります

その　他實業部所管に觀象費三十二萬圓、交通部所管に私設鐵道補助二十七萬圓、航空會社補助十五萬圓、司法部所管に縣司法機關改組費四十萬圓、文教部所管に高等工業學校費七萬六千圓、蒙政部所管の警察費二十八萬八千圓、錦熱蒙旗および省公署改組費三十二萬七千圓等が主要なる項目であります

特別會計

康德四年度における特別會計は事業會計として第二松花江において水力發電工事を行ふため水力電氣建設事業特別會計に本年度三百十九萬九千圓を計上して居ります、この水力發電所の建設は總工費四千七百三十萬圓、完成期における最大發電出力十八萬キロワットでありまして五ヶ年計畫をもつて遂行し、康德八年度において完成する見込であります、賽馬事業を獨立せしむるため賽馬特別會計を、行刑制度の改善を計るため監獄特別會計を設け、また資金會計として國債金受入のため國債金特別會計を設けましたが

一方　事業會計中專賣事業を統一して鴉片、石油、權運署特別會計を專賣作業特別會計に統合しましたのと資金會計中減債基金特別會計と關税および鹽税擔保、舊外債整理基金特別會計とを合併しましたので特別會計は十六となりました、これ等の歳入總計五億四千二百九十五萬九千圓歳出總計五億六百八萬六千圓となつて居ります康德四年度起債額は一億五千百三十九萬八千圓でありまして內一般會計に屬するもの一千五百萬圓、特別會計に屬するもの一億三千六百三十九萬八千圓であります、すなはち投資特別會計八千三百五十萬圓鐵路國債特別會計四千六十六萬三千圓、水力電氣建設事業特別會計三百十五萬および各作業會計資金九百八萬五千圓であります

以上　大體康德四年度の概要を申上げましたが繰返して上げます通り康德四年度よりいよいよ第二期建設に這入る譯であります、然し政府側におきまして如何に愼重に計畫を樹て努力致しましても民間よりの協力が無ければこの大建設は到底行はれるものではありません、第二期建設の成否が日滿兩國の將來に如何に重大なる影響をおよぼすかを考へ併しますならば民間一致協力これが遂行に邁進することは寧ろ國民全體の義務といはねばなりません、第二期建設遂行の第一步を踏み出したる康德四年度豫算の說明を終るに當りまして特に皆樣の御協力を御願ひ致してやまぬ次第であります

滿洲十景（中）

鳳凰山の谿谷、吉林の山水 豪華・奉天の横顔

滿洲事情案內所 瀧田生

鳳凰山

鳳凰山を表とし、高麗門を裏としてゐる一群の山園は安奉線沿線の持つ景勝地としてまづ第一と見るべきであらう

「孤松蟠地起、亂石倚天生」と詠はれた奇巖怪石の偉觀は勿論、淙々の溪水に懸崖の瀑布あり、古蹟あり、奇勝あり遠く山裾に杖を止め靜かに展開された長閑かな山峽の草原に牧草を追ふ放牛の群を夢の如く聞きつゝ畑を越え、森を隔てゝ遙かに稜々たる山たる山骨を望むのも幽幻の裡に又得難き趣きがある、柔かな陽の光を浴びた山も、若い綠葉も、曠莫たる平原にのみ馴れ、山を戀し、水に憧れる心を母の如く抱いて與れるであらう、こゝも自然の搖籃所である □

鳳凰城の城邑はこゝに生育してゐる、この地は古來滿韓兩民族の勢力接觸の重要地であつて、明の成化十七年始めて築造されたといはれる城壁は今なほ支那が朝鮮半島の咽喉を扼して高麗民族を支配した歷史を物語つてゐる城內は驛の東方約十町、人口三萬、城內と城外の商業區とからなつてゐる、附近には日淸日露の苦戰の跡があり、辿れば追懷の情禁じ得ないものがある、

鳳凰山は溪谷美ばかりではない、この他は植物採集家にとつても意義深いところであり景勝と學術との兩方面にわたつて特記すべきところである

奉天

奉天から受ける第一印象は滿洲の大都としての最も古い半面と最も新しい半面とである、首都は望んで得られなかつたものゝ近代都市としての大奉天は南滿のセントラルシテーでもあり、滿洲の大阪であり、極めて輝しい將來が約束されてゐる

歷史を辿れば、遠く渤海の時代にこの地に城を置いたといはれるだけに舊都としての重々しい面が到る處に見られる歷史も古いだけに名勝、舊蹟遊覽個所も多く滿洲の代表的匂ひを嗅ぐのに好適の地である、つぎに限られた行數の範圍で奉天のプロフイルを紹介しよう □

まづ奉天に足を留めたものはメンストリート千代田通の日本色の氾濫は懷しい感激を覺えるであらう、附屬地一帶の日本街は逞しい活況を呈してゐる、盛り場の裏口には艶つぽい新內流しの三味が流れて來る、そこには僅かに「滿洲」を見出すけれど現實の「日本」の生活の延長である □

奉天の城門は豪壯で印象が强い、奉天城は內城と外城とからなり、內城は淸の太宗、天聰五年、外城は順治十四年の築造にかゝる、舊宮殿は城內の中央にあり、淸の太祖皇帝文皇帝の宮居として二百八十餘年前の建造である北陵は奉天驛を去る一里半の地點にあり、順治元年太宗文皇帝を葬つたもの、東陵は奉天の東方三里のところにあり、淸の太宗を祀る何れもその規模宏壯にして松杉鬱々奉天屈指の淸涼地である

現在總人口四十五萬、內地人六萬一千、これを要するに奉天は關東州の大連を除けば滿洲內では第一の邦人集團地でもあり、遠くは淸朝の發祥地である、滿洲を訪れる者のまづ杖を下すべき地である

吉林

山秀水淸と滿洲國人が呼ぶところの山水の兩美を兼ねるもの、滿洲において吉林に勝る處はあるまい、邦人呼んで「滿洲の京都」といふも無理からぬところである、日本好みな點から見れば將に滿洲一であらう □

大江松花の流れもこゝは水淸く、市街を圍繞する美しい山々も遠景として好く、京の東山の趣をなして市街に迫る北山は、綠の樹間に關帝、藥王娘々、玉皇の四廟を隱見させて畫龍點睛の妙を示してゐる陰曆四月廿八日藥王廟の祭が催される頃には全山の青葉若葉に戲れる遊山の男女が多い □

北山の見晴し臺騁亭に立てば前はS字形をなして流れる大江の壯觀、後は波濤とうねる丘遙かに歡喜嶺の蝶樓を望むのは捨て難い鐵路局の屋上の展望もまた絕佳である 眼下に展開する人口十二萬、日本人三千人の吉林省城の豪華版は新興都市としての意欲を持つて遊子の胸に迫るものがある □

松花江の好さは秋口、滿々たる江水に岸の楡柳が映える頃ではあるが、眞靈の鵜飼もよく川魚の味覺は又素晴しい、その他北山の紅葉にスキー、求むれば吉林の妙味は隨所にある

「時差撤廢」

佐藤凡人

時差撤廢誠に結構、これで日滿不可分關係をより强固に具體化して完全一體になつたわけである、が少し腑に落ちない所がある他でもない、各機關の執務時間である、以前の標準時刻が變則的で改正時が正當なのか、さに非ず百三十五度に追從を餘儀なくされたのかは寡聞にして知る由もないが、一時間繰り下がつたのだから總べてを繰り下げたら良かりそうなものにと吾々凡人にしては思ふのであると言つても長い間の慣慣とか國民性とか地理的關係とか種々の事情から素人の想像通り簡單には行くまいが、それにしても解し難い。

例を一日に取れば大使館關係は從來通り九時から四時迄關東軍、電業は九時半から四時半迄、政府及滿炭は十時から五時迄、滿鐵は九時半から四時迄、中央銀行は十時から四時迄と大體五種に分類されてゐる

これを見ると時差が撤廢にならない所もあれば、なつた所もあり、半時間しかならない所もある、何を標準に如何なる根據から誰が決めたのか其處には何等の統制も協調及至は申し合せすらも窺知し得ないし、全くの自由執務である、一は今終業のベルが鳴りつつあり、一は三十分前に終り、他は未だ半時間執務の義務がある、これで各機關の聯絡が充分に取れるだらうか、明日へ繰越と言ふ必要のない事務の澁滯が生ずるのは當然の結論になり得ないか、相互に事務の交涉は絕對的に必要であらうし、全然外部との聯絡を無視しても存續し得る會社もない筈である

經濟界にばかりでなく、こんな所にも所謂準戰時下に於ける統制の必要がないだらうか

ラッシュアワーが二時間になつたり、時刻は同じでも實際上は從來より一時間だけ地球より早く迴轉しなければならない人や、時計より一時間だけおそい生活をする人が出來たりいろいろな副產物、悲喜劇がかもし出されるだらうそれから、十時始りの土曜日の時は、晝食を一時にすると言ふ變態的な珍らしい事も出來ないだらうから撤廢とは關係なしに十二時に揃るものとすれば、二時間で解放される事になる、どんなものか

再言する、事務上の聯絡と言ふ一點から、步調を合せる事が不可能なりや否や？爲政者よ、鳩首凝議を求む

東邊道一帶に 大々的宣撫班派遣

貧民に診療施藥も行ふ 成果頗る注目さる

治安維持會中央宣撫委員會では東邊道一帶に於ける治安工作の進捗狀況に鑑み更に同地方住民に王道の波及を試みるべく、一大宣撫宣傳班を組織して一月廿日頃新京を出發、肅淸工作に續いて約五十日間に亙り徹底的宣撫工作を行ふこととゝなつた、然して宣撫班の組織に就ては關東軍、情報處、協和會、軍政部等と緊密なる連絡をとつて大々的計畫のもとに行はれるものであるが、三班より成る施療班も加はり該地方に於ける貧民に診療、施藥をもなす豫定で、之が成果には多大な期待がかけられてゐる

蓋平・開城の縣營電話

三月より電々で買收經營

【大連國通】電々會社ではこのほど蓋平、開城兩縣々營の有料電話買收に決し、五日本社遠藤業務課長が來連、兩縣參事官との間に調印を了した右兩縣有料電話加入者は蓋平百六十、開城百二十で來る三月一日より新たに電々會社の手で經營することゝなつた

濱江省文物研究所を 大陸科學院に移管

【哈爾濱國通】濱江省文物研究所は去る一日附をもつて大陸科學院に移管され、大陸科學院哈爾濱分院と改稱されるに至つた、從つて同所所屬の哈爾濱博物館も大陸科學院の經營に移される事となつたが同館では昨年十二月以來動物學の權威京城帝大教授森爲三博士を招聘しおびたゞしい動物學參考資料の整理を急いでゐたが、この程漸く六千餘點の整理を終へた同博士は語る

當博物館は北滿特有の動物資料を蒐集してゐて非常に特色のあるものである、世界學界等でも未發見のもの等があり、その調査研究は學界に裨益する處甚大であらう、經濟方面からみるも毛皮は事變前は年額一千萬圓近くを產出してゐたものである、また魚族の種類もすこぶる多く、移民計畫の實施と共に漁業も頗る將來性をもつてゐる

なほ同博物館所屬の參考品は考古學、人種學、地質學、動物學等總數約四萬點、未整理品約一萬點におよんでゐる

十二月中の吉鐵貨客取扱數

【吉林國通】吉鐵發表＝吉鐵十二月分乘車人員は三二二、〇一六名を數へ、前年同期に比較すれば四、六三〇人の減少である、大體後記貨物噸數の增加と相俟つて良成績を示し康德三年度累計において二六〇〇、三九六人、これを前年累計に比すると四九一、四五九人の增加である、貨物取扱キロトンは十二月分五〇四、四九三キロトンで前年同月に比し二三七、六一五キロトンの增、年累計において三、二〇七、〇一八キロトンで前年累計に比し九一五、七二三キロトンの著增となつてゐる、なほ十二月に至るまでの最高記錄は乘車人員は十二月廿九日で一萬二千八百九十人、貨物は十二月十三日の一萬九千百五キロトンでいづれも頗る好記錄を示してゐる、因に吉鐵營業粁程は一千百八十一粁である

匪首王德泰 射殺確認さる

【奉天國通】昨年十一月廿五日國軍騎兵第七團との戰鬪において殲滅的打擊を受けた共產匪首王德泰の行方は爾來杳として不明であつたが、一月三日に至り同人の舊部下および住民の報告により撫松縣下において國軍のため射殺されたこと判明した

王は東北抗日聯合軍第二軍長と自稱し、かつては部下一千餘名を擁して廣東、吉林省境附近に蟠居、暴逆の限りをつくしてゐたものである

瓦房店署の初手柄 二小頭目を逮捕

【瓦房店支局】復縣瓦房店警察署村上署長は內報により吉永刑事一行を督勵し搜査の結果濱江省珠河縣附近において橫暴の限りを盡した匪賊青山及夫勝の小頭目として暴威を揮つた杜瑞（五七）杜樹東（二三）の二小頭目復縣王家驛東方、山間の一軒家で盡竹密造中を逮捕した、餘罪夥しい見込で目下取調中

奉天土木廳 初代廳長に中村氏任命

【奉天國通】滿洲國政府では今回新たに土木局を設置したが、これにともなひ奉天省においても民政廳土木科および國道局奉天建設處と合併して土木廳が新設され初代廳長に中村貞畊氏が任命された

館令第一號

特殊地帶旅行移住者取締規則

第一條　本規則ニ於テ特殊地帶ト稱スルハ國防及治安上特ニ取締ヲ要スル左ノ地域ヲ謂フ
琿春、虎林、密山、東寧、穆棱、羅北、綏濱、同江、撫遠、饒河各縣黑河省、興安北省

第二條　特殊地帶內ニ旅行セントスル滿十四歲以上ノ者ハ別紙第一號樣式ノ旅行許可願二通ニ寫眞（六月以內ニ撮影シタル名刺型無帽半身二葉）ヲ添附シ當館（分館管轄區域內ニ在リテハ分館、以下同ジ）警察官吏ニ願出デ旅行許可書ノ發給ヲ受ケ之ヲ携帶スベシ
已ムヲ得ザル事由ニ依リ前項ノ願書ニ寫眞ヲ添附スルコト能ハザル者ハ其ノ事由ヲ具申シ指紋ヲ以テ之ニ代フルコトヲ願出ヅルコトヲ得
定期ニ運行スル汽車又ハ航空機ニ依リ特種地帶ヲ通過スル者ハ第一項ノ許可書ヲ要セズ但シ旅行許可書ヲ有セザル者ニシテ停車場外又ハ飛行場外ニ出デントスル場合ハ其ノ他ノ警察官署ノ許可ヲ受クベシ

第三條　特殊地帶內ヘ移住セントスル者ハ別紙第二號樣式ノ願書二通ヲ所轄警察官憲ヲ經テ當館ニ提出シ移住許可書ノ發給ヲ受ケ之ヲ携帶スベシ
前項ニ依リ許可ヲ受ケタル者ニシテ移住地、家族其ノ他ノ同伴者ヲ變更セントスルトキ又ハ移住許可書ノ有效期間ノ變更ヲ必要トスルトキハ其ノ事由ヲ具シ第一項ニ準ジ願出ヅベシ

第四條　旅行許可書又ハ移住許可書ハ之ヲ他人ニ貸與シ又ハ讓渡スルコトヲ得ズ

第五條　特殊地帶內ニ旅行シ又ハ移住スル者ハ當該取締官憲ヨリ旅行許可書又ハ移住許可書ノ呈示ヲ求メラレタルトキハ之ヲ拒ムコトヲ得ズ

第六條　旅行ニ關シ他ノ法令ニ依リ發セラレタル令狀、命令書、證明書又ハ許可書ハ之ヲ本規則ニ依ル旅行許可書ト看做ス

第七條　第二條第一項ノ許可ヲ受ケタル者ニシテ已ムヲ得ザル事由ニ依リ旅行ノ經路、行先地、又ハ期間ヲ變更セントスルトキハ其ノ事由ヲ具シ最寄警察官署ニ願出ヅベシ
第二條第二項ノ通過者ニシテ已ムヲ得ザル事由ニ依リ停車場外又ハ飛行場外ニ出デントスルトキ亦同ジ

第八條　業務其ノ他ノ事由ニ依リ當時特殊地帶內ニ出入スル者ハ第二條ノ手續ニ準ジ定期旅行許可書ノ發給ヲ受クルコトヲ得
前項ノ許可出願ニ關シテハ第二條ノ規定ヲ準用ス
定期旅行許可書ノ有效期間ハ許可ノ日ヨリ一年以內トス

第九條　特殊地帶內ヘ移住シタル者ハ到著後十四日以內ニ其ノ地所轄警察官署ニ屆出デ移住許可書ヲ返納シ同時ニ居住證明書ノ發給ヲ受クベシ

第十條　旅行許可書又ハ移住許可書ヲ紛失シタルトキハ直ニ其ノ旨最寄警察官署ニ屆出デ證明ヲ受クベシ
前項ノ屆出ニハ旅行許可書又ハ移住許可書ノ記載事項ヲ記入スベシ第一項ノ證明書ハ之ヲ旅行許可書又ハ移住許可書ト看做ス

第十一條　第二條乃至第四條、第七條、第八條第二項、第九條、第十條ノ規定ニ違反シ又ハ第五條ノ規定ニ依ル當該取締官憲ノ命令ニ遵ハザル者ハ五十圓以下ノ罰金、拘留又ハ科料ニ處ス

第十二條　軍人、軍屬、官公吏（日本人ニシテ滿洲國ノ官公吏タルモノヲ含ム）又ハ鐵道總局警務員ニシテ正規ノ服裝ヲ著用シ又ハ所屬長ノ發給シタル身分證明書ヲ携帶スルモノニハ本規則ヲ適用セズ
前項ニ揭ゲタル者ノ家族並ニ關東軍司令官又ハ滿洲國駐劄特命全權大使ノ管理ニ屬スル機關ニ在リテ勤務スル者及其ノ家族ニシテ所屬長ノ發給シタル身分證明書ヲ有スルモノニ關シテモ亦同ジ

附　則

本規則ハ昭和十二年二月一日ヨリ之ヲ施行ス
日本憲兵隊ニ於テ發給シタル證明書又ハ許可書ハ之ヲ本規則ニ依ル警察官署ノ發給シタルモノト看做ス

昭和十二年一月四日
在新京
大日本帝國總領事代理　中野高一

第一號樣式
旅行（定期旅行）許可願（本願書ハ二通提出スルモノトス）

貼寫眞

氏名
年齡
性別
一、本籍又ハ出生地
一、現住所
一、戶主トノ續柄
一、職業
一、旅行ノ目的
一、旅行經路行先地
一、旅行期間
右ニ依リ旅行（定期旅行）許可相成度寫眞添附此段願出候也
年　月　日
右　氏名　印
所轄警官署　宛

第二號樣式
移住許可願（本許可願ハ二通提出スルモノトス）
一、氏名
一、性別
一、生年月日及年齡
一、本籍又ハ出生地
一、現住所
一、戶主トノ續柄
一、民族
一、職業
一、宗教
一、移住ノ目的
一、移住地
一、出發豫定年月日
一、家族其ノ他ノ同伴者ノ氏名年齡職業及關係
右ニ依リ移住許可相成度此段願出候也
年　月　日
右　氏名　印
領事官　宛

新京區公示第二八號 新京中間區公示第九號

昭和十二年四月當課所管小學校第一學年ニ入學セシムベキ兒童ノ保護者ハ左記ニ依リ所定ノ申込書ヲ一月二十五日迄ニ新京事務局地方課學事係ニ提出セラレ度

昭和十一年十二月二十五日
南滿洲鐵道株式會社
新京事務局地方課長　田中弘之

記

一、入學兒童　自昭和五年四月二日至昭和六年四月一日出生者
一、入學申込書受付期間　自昭和十二年一月六日至同年一月二十五日
一、入學申込書ニハ戶籍謄本若ハ同抄本ヲ添附ノコト
一、入學申込書ハ新京事務局地方課學事係ニ請求セラレ度

新京區公示第三〇號

第七尋常小學校開校ニ伴ヒ通學區域ヲ左記ノ通變更シ昭和十二年一月十一日ヨリ之ヲ實施ス

昭和十二年一月六日
南滿洲鐵道株式會社
新京事務局地方課長　田中弘之

記

室町校　中央通—入船町通—東二條通—日出町通以內
西廣場校　中央通—菖蒲町通—西五條通—白菊町通—柏木町通（但シ軍官舍ヲ含ム）—泉町通以內及鐵北北二條通以西
八島校　天同大街—民康大路—商埠大馬路、北大街、南大街—入船町通以內
白菊校　天同大街—大同大街—牡丹公園—東萬壽大街城後路—菖蒲町通以內及北安路以北西廣場校區ヲ除ク
櫻木校　興仁大路—東萬壽大街—城後路—菖蒲町通—北安通以西及鐵西一帶
三笠校　日ノ出町通—東二條通—入船町通—商埠大馬路北大街、南大街、以東及東北北二條通以東
第七校　民康大路—大同街—牡丹公園—東萬壽大街—興仁大路以南

范家屯區公示第十三號

昭和十二年四月當課所管范家屯尋常小學校第一學年ニ入學セシムベキ兒童ノ保護者ハ左記ニ依リ所定ノ申込書ヲ一月二十五日迄ニ范家屯派出所ニ提出セラレ度

昭和十一年十二月二十五日
南滿洲鐵道株式會社
新京事務局地方課長　田中弘之

記

一、入學兒童　自昭和五年四月二日至昭和六年四月一日出生者
一、入學申込書受付期間自昭和十二年一月六日至同年一月二十五日
一、入學申込書ニハ戶籍謄本若ハ同抄本ヲ添附ノコト
一、入學申込書ハ當課范家屯派出所ニ請求セラレ度

家庭

支那の珍習俗（上）

新しい衣裳と纏足の夢

清濁併せ呑む支那の貌
何のこれしき奇とするに足らんデス

△まへがき

支那は一つの大きな器である、古いものと新しいもの、清いものと汚れたものが、それぞれ所を得て何の不都合もなく存在してゐる

一方に　君子の道があるかと思ふと他方には結構破廉恥の道が通用するのである、「不義にして富み且つ貴きはわれにおいて浮雲の如し」などといふ立派な東洋道徳の最高標準を行くものが説かれる傍ら天下に賄賂が横行してゐる、「時髦姑娘」がショート・ワックスを穿いて新しい空氣を吸ひ楊樹浦の煙突がヨーロッパの煙りを吐き、或は浙江財閥がアメリカ的な世界觀を語るも支那であれば、千古の姿をそのまゝとゞめて超時代に眠つてゐるのも支那なのである

□

しかしこれは不思議なことでもなければ謎でもない、われわれの尺度をもつてしては到底測り知れないのが支那の大きさであつて、途方もなく大きい包容力が清濁を併せ呑んでゐるのに過ぎないのである

だから　この國に住む人間は大和の島國に住む日本人から見れば悠容としてゐる、つまらないことに直ぐ青筋を立てゝ喧嘩腰になつたりはしないのである

□

金持の男が朝寢坊をして妻妾を十人も持つてこれといふビジネスもないので郊外に出て煙草でも啣へながら自分の携えて來た籠の鳥と野生の鳥との鳴き方の競爭でもさせて暮してゐるからといつて彼は町内の貧乏人から袋叩きにされることもなければ、硝子窓に小石を投げられる心配もないのである、苦力人足はこれを見ても「あいつは金持ちなんだ、沒法子さ」で

鳧りが　ついてしまふ、決して人の痂氣を頭痛に病むやうな野暮な詮議立てをして時間を潰すやうなことはしない、そんな暇があれば一文でも餘分に稼いだ方が得ではないかといふのが彼等の人生哲學なのである

これからしるす支那人の珍奇な風俗習慣もそれ故にわれわれから見ればいかにも途方もなく突飛なことだらけであるが、彼等の國柄や彼等が祖先から承けついだ性格から推して行けば、むしろ當然なことであつて何等奇でもなければ珍でもないことであらう

次に指摘して見やうとする奇異な習俗は、主として結婚問題を中心とする

男女の　生活その他の人事であるが、こゝにあらはれた諸々の現象にはその底に一つの大きな流れが貫いてゐることが判明する筈である、それはほかでもない彼等の有する

徹底し　た唯物觀である　彼等の唯物主義が如何に强靱なものであり、何物をも蔽ひつくさずば止まない徹底ぶりである、これには今更の如く驚異の眼を瞠らずには居られないであらう

△典妻

女房の質入れである　江戸ッ子は女房を質に入れても初鰹を手に入れるといふことは言はれてゐるが、事實そんな質受けをしたといふ者を聞いたことはない、しかし支那ではそれが現今堂々と行はれてゐるのだからその神經の太さ加減には驚くのほかはない　浙江省は寧波、紹興、臺州地方で行はれる風習である

夫たる　者働きがなくて金に窮して來ると一定の期間（普通十年間）を定めて媒酌人を立て他人に妻を占有使用させるのである　いよいよ質入れの候補者が決まると當事者双方で期間（典期）と金額（典價）を協議した上、契約書（典婚書）を取交しそれぞれサインをする

面白い　ことには假令それが質入主（出人典）たる前夫の胤であつても入質中の期間に生れた子供は質受主（承典人）の子になることである、若し不幸にして期間中に女房が死んだら夫と質受主とは仲よくこれを埋藏する

かくして期限滿了すれば夫は元利ともに耳を揃へて辨濟し妻を受戻すのであるがこの時往々にして悲劇が惹起する

女房にして見れば二世を誓つた夫が如何に金のためとは言へ見ず知らずの男に

可愛い　筈の自分を任せてしまふのである、そんな男に何時までも未練があらう筈はない、その上質受けしてくれた男はといふと金はあるし親切である、第一去る者は日々に疎しであり毎日顏を合せ夜毎一身に寵を集めてゐれば質受人の方が感覺的にもズッと夫らしく思へて來る　元來女といふものは洋の東西を問はず浮氣……であるから期限滿了に當つて「妾しや前の夫のとこへなんか歸りたくないよ張さんうまくやつてヨ」なんてことになり、

女房が　正式に離婚訴訟を提起すると、裁判所は典妻なるものは離婚の原因なりと認むとこれを受理して離婚の判決を下すことになつてゐる

もうさうなつたら前夫はいかに泣いてもわめいても駄目である、齒をくひしばつて諦めるより術はない、書き落したが質値錢はわれわれからみると法外に安く十年で僅か

三十元　五年なら十余元といふ相場である（質受主の圖々しいのになると典金を年賦にして、なしくずしで拂ふのが居る）

△明治天皇御踐祚（慶應三年）
△築地兵學寮に海軍始を行はせらる（明治六年）
△滿洲事變中古賀聯隊長戰死す（昭和七年）
△山口藩の志士廣澤眞臣刺客の手に斃る（明治四年）
△イギリスのデーヴィ發明の安全燈決死的實驗に初めて成功す（西暦一八一六年）

明眸も

眉の作り方一つ

△……かうして調和美を

目、鼻、唇といろいろな顏の造作の中でも眉だけは眉そのものゝ美よりも、むしろ目の美しさを引きたてる役の方が大きいやうに思はれます、で眉の形は各人の目に應じて描かなければなりません、まづ

目の小さい人　には餘りモダンなひき眉や糸の樣な細い眉は却つて目の醜くさを强調するやうな結果になります、なるべく自然の儘のやゝ丸味を持つた形の眉が一番無難です、次に

目のハッキリと大きな人　には太い黒々した眉は斷然向きません、そんな人こそやゝ細めに剃りこんで、眉尻を幾分か上げ氣味につくつてごらんなさい、益々瞳の美を發揮することができます

目と目の間の離れすぎた人　は眉をやゝ眞直ぐに描き、其の上を指でなでながら僅かの眉墨のついた同じ指で眉頭から鼻際へかけてそつとなでゝおくと間の抜けた感じをグッとカモフラーヂすることができます、また

への字型の眉　は若し目の小さい人ならば上から剃り落して形を整へ、反對に目の大きい人ならば下から剃りあげるのが宜しい

丑太郎物語

蜂須加太郎作　石井什二画

一

或る町はずれに、大きな牧場がありました。

その牧場のまはりには、きれいな川が流れてゐました。

その牧場に生れた、丑太郎は、まるまるとかほのふとつた、かあいらしい子供でありましたので、皆からもかあいがられました。

二

もとより、お父さまも、お母さまも、たいへんに、おかあいがりになつて、おうちの宝として、そだてゝ居られました。

ところが、この丑太郎には、めうなくせがありました。

それは、すこしひまさへあれば、ねむつてしまふくせです。

三

そこで、お父さまや、お母さまは、たいへんにしんぱいなさつて

「丑太郎や、そんなにねてばかりゐると、牛になつてしまひますよ。」

と、おつしやいました。

すると、丑太郎は、

「牛になつてもいゝや。」

と、答へるのでありました。

「これこれ、何をいふか。牛になつては困りますよ。」

と、お父さまや、お母さまは、おつしやいましたが、

「なあに、いゝよ、お父ちやん、お母さん。……」

と、いつて、きゝ入れません。

このことについては、お父さまも、お母さまも、ほとほと困りぬいて居られます。

四

ある日のことであります。

丑太郎は、お父さまに連れられて、牧場の隅の野原へ出ましたが、出たと思ふと、まもなく、やつぱり、草の上に、ごろりとなつて、ぐうぐうと、ねてしまひました。

それから、まもなくのことであります。

ビユウ――と、おそろしい風が吹いて來ました。

（あッ！）

と、おどろいて、丑太郎は、目をあけて見ました。

すると、一匹の牛が、何をおこつたのか、とつぜん、向うから、たいへんな、いきほひで走つてまゐりました。

まるで、小山に足がはえて、かけて來るやうであります。

五

「あッ！あぶない！」

と、いつて、おどろいて、かけつけたのはお父さまでありました。

すると、牛は、お父さまにむかつて立ちどまりました。

さうして、牛はからいひました

「お父ちやん、とめちや、とめちや、いけないよ。……」

「とめちやいけない？」

お父さまは、ふしんに思つて、きゝ返しました。

すると、牛は、答へました。

「あんな子供はころしてしまつた方がいゝよ。」

牛がころしてしまつた方がいゝなどいつたので、お父さまは、おどろいてしまひました。

牛に關する語彙

◇黒牡丹　事類全書に「唐に劉訓と言ふ者あり。京師の富人なり、梁氏の國を開くや、嘗つて假貸して以て軍に給す。京師の春遊牡丹を觀るを以て勝賞と爲す。訓客を邀へて花を賞す。乃ち水牛數百を繋ぎて前にあり、指して曰く、此れ劉氏の黒牡丹なり」と云ふに始る。牛の別名である。

◇對牛彈琴　祖庭事苑に「魯の賢士公明儀牛に對し琴を弾じ淸角の操を弄す、牛食ふこと故の如し、牛の聞かざるに非ず、耳に合はざるなり」とあるに如る。大隣俚耳に入らずの謂で、愚人に理を說くの愚を意味する。

◇牛驥同早　鄒陽が獄中より梁王に書して「不驥の士をして、牛驥と早を同じうせしむ」云々とあるより起る。牛驥は牛馬の謂で早は槽、賢人過つて凡人の待遇を受くるを痛むの意味。

◇放牛桃林の野　周の武王、牛を桃林の野に放つて復用ひざるより起る。王者の愚氣を示す意味。

◇汗牛充棟　柳文の陸文通墓表に、「其爲書、處則充、棟宇、出則汗牛馬」とあるより起つたもので藏書の多きことを言ふ。

◇牛耳を執る　左傳に「諸侯の盟には牛の耳を割きて血を取り之を啜る。尊者牛耳に卑者牛耳を執り、盟者を次するを司る。故に牛刀を執るは卑者のことなり。然れども哀公十七年の杜臣に牛耳を執り。盟を司る者とあり。故に盟世の義とす」とある。

◇寢た牛に芥かくる　自分の爲した惡事を人に嫁せんとするを云ふ。「世話盡」に寢た牛に芥かくる云々の語あり。

◇女さかしくして牛賣り損ふ　俗に猿智慧と云ふ。女の淺智慧が事を誤るを諷したもの。

近松の「出世景淸」に「アノ景淸はナ、大宮司の娘あの姫を最愛し、御身が事は當座の花、後悔するとも叶ふまじ。女さかしくして牛賣られるとは御身が事ぞ」と云ふて居る

◇牛を馬に乘りかへる　牛の鈍きを棄てゝ馬の迅きに就く、即ち勝れるに就くの喩「鷹筑波」に「牛を馬に乘りかへにける、武家にて知行給はる御百姓云々」とある。

◇牛は願から鼻を通す　自ら死地に陷るを嘲ること。「江戸生浮蒲燒」に「牛は願から鼻を通す」と艶治郎がわる案じの心中、此時浮名がパッと立ち、渉團扇の繪まで書いて「だまされけれ」とある

◇牛は死んでも前田は荒さぬ「君に仕ふるに忠なるを言ふ「禮記」に「古之人有言」曰狐正止丘首仁也」とある。

◇牛の角を蜂がさす　鹿の角をさすとも云ふ、油斷のならぬ事の意。

◇牛は牛づれ馬は馬づれ　類は類を以て集ると同じ、同黨異伐の語によつて來たもので、「淸水物語」に水と水とは集り易く、火と火は伴ひ易しとあり。韓詩外傳には「君子潔其身、而同者合焉、善其言、而類者應焉、馬鳴而馬應之、牛鳴而牛應之、非知也其勢然也」とある。

◇丑の刻參り　戀には嫉妬が伴ふ。嫉妬の無い戀は戀に非ずとか、亂れ髪を姿みに曝し再に擬ひし二本の蠟燭異様の扮裝に人目を避けての丑時參り、戀のローマンスと見れば此の上ない興趣がある。

◇牛の一散　一氣呵成、前後の心慮もなく逆上するを戒る言葉、「腐筑波」に「寅より先にかけ出でにけり、よる夜中たが乘る牛の一散で」とあり、「駿台雜話」に「世話に牛の一樣と云ふ樣に、やゝもすれば機嫌にまかせて調子に乘じなどして一槪に物を決斷して快しとすと是は眞斷にあらず」とある。

◇牛に乘つたのでドーもと云へぬ　馬に乘ればドウドウと掛聲をすれど牛に乘る故にドウドウとも云へぬ、何とも言ひ得ぬと言ふ寓意。

◇牛を牽く　皮肉に狹味を云ふ時に用ゆ。

◇牛を遲く　物を敏速にせぬこと。牛を遲物鈍物と見て、はきはきせざるものの譬へに云へり。

◇牛迫に時雨　紅葉に鹿、水に月、牡丹に唐獅子の類、配合の妙なるを云ふ。

◇牛尿に火のついた樣　ぐづぐづと埒のあかぬ事を云ふ。

◇黄牛に衝かれる　黄牛は溫順なものとせられてゐる。黄牛に衝かれる程ののろまと云ふ意。

けふの番組

（M・T・C・Y　新京放送局　九日（土曜日））

朝

七、三〇　聖訓謹話（東京）教育勅語（一）文學博士　小西重直
八、一〇　氣象通報・入港船のお知らせ（大連）
八、一五　中等滿洲語講座（大連）講師　秩父固太郎
八、四〇　朝の音樂（大連）
九、三〇　經濟市況（東京）
九、四五　建國體操
一〇、三〇―一一、二〇）全滿氷上選手權大會　男女百米レース＝奉天國際スケート場より中繼＝
一〇、四〇　經濟市況（大連・新京）
一一、二〇　料理獻立（奉天）
一一、三〇　家庭メモ
一一、三五　經濟市況（大連）
一一、四〇　經濟市況（東京）
一一、五九　時報（東京）

晝

〇、〇五　晝の演藝（レコード）
〇、四〇　ニュース（東京・新京）
一、〇〇　經濟市況（大連・新京）
三、〇〇　經濟市況（大連・新京）
三、五〇　經濟市況（東京）
四、〇〇　ニュース（東京・新京）
四、三〇　經濟市況（大連・新京）
五、二〇　ニュース（鮮語）
五、三五　朝鮮俚謠集（奉天）BY管絃團
六、〇〇　子供の時間（福岡）郷土童謠　春吉コドモ會　指導並解說　梅林新市

夜

六、二〇　コドモ新聞（大連）
六、二五　講演（東京）アメリカ在住の本邦人とその子弟の教育　鈴木孝志
六、五五　カレントトピックス（東京）
七、〇〇　ニュース（東京）ニュース・告知事項・番組豫告（新京）
七、三〇　放送文藝懸賞當選作品發表の夕
（東京）俳句　選評　高濱虛子
一、秋深きもの　人見武夫・作
二、夕燒のさめ　柴田たき子・作
三、蟲賣りに　佐々木詠悅・作
四、爽やかに　牧たみ・作
五、利根川へ　佐藤海童・作
（大阪）短歌朗詠　光田作治　新管絃伴奏
一、幼兒ら　林梅子・作
二、おのづから　中村生・作
三、年賀　米山名巽・作
四、颱風過ぎ　片桐顯智・作
五、ねてきけば　梶一男・作
（東京）詩吟
一、多日田家　吉村岳城　推野正次郎・外四
（東京）箏曲
落葉　神谷正子作詞　今井慶松作曲　箏　今井慶松　同　山勢松韻　三絃　川端淸井
（東京）小唄
彌撒の鐘　山本榮作詞　清元榮次郎作曲　唄　市丸　三味線　才香
八、二〇　室内樂（絃樂四重奏）（大阪）
第一ヴァイオリン　アレキサンダー・モギレフスキー
第二ヴァイオリン　ミハエル・ヴエクヌラー
ヴイオラ　エルネスト・トマンツチ
チエロ　伊達三郎
四重奏曲　第廿一番　二長調　モーツアルト作曲
第一樂章　アレグレット
第二樂章　アンダンテ
第三樂章　メヌエット・アレグレット
第四樂章　アレグレット
九、〇〇　時事解說（東京）英伊の協定並に世界の經濟　經濟學博士　太田正孝
九、三〇　時報・ニュース（東京）ニュース・告知事項・氣象通報・番組豫告（新京）
一〇、〇〇　長唄（大連）一、初春　二、若菜摘み　長唄東鼓會社中
一〇、三〇　北滿の時間（哈爾濱）

お料理獻立

卵と蟹の溫かいお汁

暮からお正月のお料理はとかく決つてしまひますが時には一寸變つた味もほしくなるものでございます。そのやうな時にお拵らへになると喜ばれる溫いお汁を申上げませう。

【材料】（五人前）
蟹罐詰半斤罐でも四半斤のでも一個
椎茸　六、七個
筍　三十匁
葱　一本
鷄卵　二個
スープ　五合
酒、鹽、醬油、片栗粉適量

蟹はほぐし椎茸、筍、葱のせん切を用意しスープを煮立てて加へ、酒鹽を加へて煮立つたら醬油、水どきの片栗粉とりにといた卵を流し火をとめます

學藝

短篇小說一等（賞金二十圓）
パンダルの梨花
椿　沙智

（三）

交番に引きずり込まれて擲られてゐる鮮人、道傍で日本の子供と鮮人の子と喧嘩をしてゐる人集り、冷靜な顔、鋭い目で同じ母校のM大學出身の鮮人辯護士が

『あなたの前ですが……』と其の憤懣を聞かされた複雜な氣持で歸る途料理屋の門に『金氏李氏婚婚式場』と書いた立看板を見て胸に急に棒を突き込まれた樣な衝動を受けて思はず立ち止まつた。學校に歸つて寢るまで自分は默つて不氣嫌にしてゐた。

自分はここで何故婚禮の看板を見て不氣嫌になつたか明かにしなければならない。自分と從妹とは從妹がまだ小學校に行つてゐる頃からの長い交渉だつた。兄の妻が從妹の姉と決まつてから自分は未だ女學校へ上つた丈りの彼女を貰はうときめて愛してきた。二筋のお下髮を編んで胸に垂らした學生服の彼女を尋ねて日曜毎に遊ぶ樣子を伯父や伯母達は喜んでゐた。女學校を卒業するまでたつた一度神田の親戚へ一人で用事に行つたのを自慢にしてゐた程內氣な彼女を外の蓮つぺらな都會の女達に比べてどんなに好ましく思つたか知れなかつた。

實を蒔いて芽を育て蕾を得るまでの長い間の樂しい丹精が漸く花が開かうとする時自分達の間は古風は伯父に氣に入られないで警戒されだした。其れが返つて二人を離れ難くしてしまつたと言つていい。母や兄に別に不同意でない事を確かめてゐるだけに自分は强かつた。其れに又伯父の心を餘計堅くさせて時期を見てと兄に言はれて家の事も考へて話もせず彼女から別れて朝鮮に寄こされて終つたのだ。どうせくれるものを惜む相手を理解する丈の餘裕もなく焦れてゐた自分を朝鮮にでもやつたら落着くだらうと周圍が心配して呉れた事さへ責任逃れに島流しみたいにさせるとも思はないではゐられない位苦勞知らずの自分だつた。其れと學校を出た直後の世の中への言ひ知れない不安が倚懃情をその紛糾に向けさせた。

稚い時から自分の考へで物を考へる事と教へ本を讀む事と知らせてきた從妹に對して對等な相手としてよりも手の中の珠玉と言つた氣持だつた。人を愛す事まで教へたのだけどうかと思ふが全く從妹の身體はその家のものだつたが十年に近い根氣は自分の考への實現としての從妹が出來てゐたのに其れを逢はせなくしてしまはれたのだから打ちつけ愛のない不滿と焦燥だつた。そうした氣持で來た此の町に何の希望も有る筈は無かつたし事毎に暗く拗れた方に考へて行くのをどうする事も出來なかつた。

夕日射す蛾半の橋に
われ在りて君想ひしも
秋の心ぞ

東村へ行つた夜そんな歌を作つてゐる中は良かつた。歌も作れなくなり友達へも手紙一つ書かなくなつてしまつた心持を慰めるものは僅かに稚い頃の從妹の面影をもつた十四の梨花を愛ほしむ事だけだつた。

（四）

凍つた廊下を渡つて一番奥の教室のオルガンの前に腰掛けてみたが火の氣のない教室は侘びしさを增すだけだつた窓の際が明るいのは月が射してでもゐるのだらうか。門の前を哀愁を帶びた節で鮮人が歌つて行く聲がマッカリでも飲んだのかも知れない妙にちぐはぐな調子なのがをかしく憐れに聞えた。開けたオルガンで宵待草を彈き乍ら低い聲で歌つてみたがあまりとつてつけた感傷さが自分でいやになつて止めた時遊びにきてゐたらしい生徒が三四人突然入つて來た。

『先生なにしてゐますか』

『月が射してゐます』

窓に寄つた梨花の横顔が蒼く光つた。

『圓いの、三日月だらうか』

オルガンから離れずに尋ねると

『半分です、朝鮮では半分の月、パンダルつて言ひます綺麗な人のことパンダルの様にウーユッブンだと言ふのです』

『そうぢや梨花はパンダルの様だな』

『うそです先生わたくし汚いです』

笑つてけれど嬉しそうに見た梨花の顔はまた稚い頃の從妹のあの含羞を再び思ひ出させて可愛かつた。

教室の戸の破れから聲をかけると其處は丁度鮮人の小さな燒芋屋の店だつた。生徒達の細い手で一本一本運れた燒芋を

『さあ今夜は先生が御馳走しようね、おあがり』

みんなに分けてやると遠慮しながらそれでも食べ終へて出ていつた後の机の上の食べ殘しの皮に斜めから月の光が射してゐるのを凝視めて今日も落着く處の無かつた心を明日は何處で暖め繕ふのかと考へた。

數の少い母校の先輩の三人迄も此の町の新聞記者だつたのは不思議だつた。

大每通信部のUさん。大朝のAさん、それから經濟時報の社長のKさんの中で大每のUさんは自分が大邱を離れる日まで一番親切にして呉れた。始めて逢つたのは警察署の新聞記者室だつた。粗末な碁盤や將棋盤等と机や窓の處まで湯呑茶碗の散らかつた雜然とした部屋で

『そりやあよく來ましたないや此の町は詰らん町でね』

と全く詰らなそうにUさんは言つた。內地を離れた處で殊に新聞記者等と言ふ世の中と一緒にと言ふより世の中より一歩先きへ行く人々は其の性格が餘計はつきり現れる樣に思へる。Uさんは大邱の町の樣な平凡な處には不向な陽氣な活動家の樣に見えた。

『此んな處にや通信する事なんて有りませんや』

口癖にそう言つてよく京城や釜山へ奧さんも知らない用事で—金儲けですよ—出掛けて行つた。書齋もないし机の上に本も見えなかつた。電話がかかると引き出しからザラ紙を無造作にひつぱり出して鉛筆で走り書をしては

『十人居れば五人は最初から敵だと決めてかからにや不可ませんよ』

と話し續けた。

Aさんは四年も此の町にゐるせいか極めて當り前な顔をした口數の少い人だつたが町の僻な言葉で城壁を作つてゐる冷めたい感じだつた。自分と一緒に布教專門にしてゐる人が尋ねて神樣はと切り出した時

『私は以前アナキストでした』

と斷つた其の態度がなにかてらつてゐる樣に思へて嫌だつたより連が

『アナキストと言ふのは何だか知りませんが神樣は』

飽く迄言ひ度い事だけ話すのが恥づかしかつた。相手の言ふ言葉が分らないで說き伏せ樣とする無茶な遣り方でうまくゆくのだらうか、其れにしても宗教家と言ふのは何でも知つてゐなければならない大變な事だなと思つた。冷めたく見えたAさん案の定、後で經濟時報のKさんを尋ねた時

『此の間はへんなのが來て弱つた』

と言つてゐたと聞かされて矢張りと嫌な氣持がした。

其のKさんも

『私は宗教に非常な興味と理解を持つてゐる者で』

と五十過ぎた小柄な脂ぎつた顔で、言はれて輕蔑したくなつた。社長だと言ふのでその積りで行つたのが第一經濟時報社と云ふのが仲々探せない横町の隅に在る木造の崩れかかつた小さな建物だつたのを見た直ぐ後だつたのと名許りの應接間の椅子に反り返つた姿が笑止だつたせゐで話を續けるのも面倒になりそうだつた上に

『君達獨身の人等は性慾を何やつて解決してゐますか』

妙な事を高壓的に質問してこられては此方は何も言ふ事はなかつた。

無意識の中に頼るべき人、教へて貰へる人を求めてゐた自分に此の三人の先輩はあまりに其の人々らし過ぎてゐた險しい實社會に、其れも見も知らぬ唯學校の先輩だと言ふ丈で東京の友達がして呉れたと同じ好意と理解を受け樣としたお坊ちゃんな自分だつた生暖いお湯に入れられた樣な扱ひを方々で味つて心は愈よ焦らされていつた。

元旦
安永廣子

東のみづはの國の日は展びて曠野の土に年明けにけり
移り住む民の一人に我ありて心極まり東方を拜す
新興の國都に明けし元旦を祖國はこらひて祝ひやまなく
民五族協和の實に添ふべしと心ひきしまり若水を汲む
ゆらくと天津日昇り富士ケ根に年明けづらん我等の祖國
數ならぬ身にしあれども元旦の誓はもてり民草われは
豐酒は三度くむべし君のため皇軍のため夫と子のため

×　×　×

年の内
村上　冬二

年內の買納めなる筆二本
柚子風呂にてんてん毬唄きこへくる
涕氷柱振つて門松馬車とまる
凍雪を打かけ松を飾りけり
凍雪にきしる門松馬車去りぬ
お飾を積で行くあり師走馬車
貧厨の數の子漬の凍りおり
お歳暮やはゝ笑み渡すカウンター
凍窓に月映りくる年用意

高熱五詠
安藤岩喜

七八日火のつく熱にうかされて吾子らとともに天國に遊べり

人を殺し吾れに罪なしと野良に出て仕事をしたる夢を見にけり
かにかくにわれには望むところなし父います國母在ます國
ラッセルの響ありと聞くさびしさよさほどにもなきことなりと思へど
馥高く妻のいけたる水仙花尖りしこころいたく和めり

雜吟
松尾小女郎

彩　票!!
彩票を趣味と慾との手で撰び
まことしやかな彩票の法螺を聞く

財　布!!
女には女の智恵の財布口
無造作にハンドバックを開けて出し
裸錢惡い癖だと叱られる

世　想!!
風彩と別に小窓へ札の束
タイトルの英字が樂なタイピスト
運命のもつれを巧く薬地寛
金策の目的も外れた大晦日
罪の名が消えない母の託住居
新市街吉姿の寺が見へ
運命はすれ違ふ汽車に乗り
二次會のそれから殘る梯子酒

書架

本欄紹介希望の新刊は本社編輯局宛一部御送附相成度し（係）

▲學藝新聞（一月上旬號）磯村政美「レビューと歌舞伎劇のエロテイシズム」—諸家執筆の「郷土文壇を語る」—等（東京市京橋區銀座五ノ三ノ一、學藝新聞社、六錢）

▲世界公論（一月號）卷頭言「秘密外交排擊と國防强化の急務」—エム・ボゴレノボブ「戰時態勢の假面をはぐ」—橘樸三郎「虎の尾を踏む政黨」ギュンター・シュタイン「崩潰過程を辿る日本財政」—横山健堂「君が代・選定の由來」等各方面に亘つての記事を收錄してゐる（東京市京橋區銀座一ノ六皆川ビル、世界公論社、五十錢）

▲正金週報（一月一日號）シベリア經由渡歐客への參考事項、十二月第四週の記錄其他（横濱正金銀行調查課）

▲滿洲の發明（一月號）ヒロタトラオ「學術と產業とを結ぶもの—工業的發明—」石炭液化法の發明者ベルギウス氏の論說をよみて」は示唆する所の多い論文、片岡三郎「實驗室放談」發明界ニュース、滿洲商標物語、蓄音器レコードの變遷發達等それぞれ興味深いもの（大連市愛宕町六六、滿洲發明協會、五十錢）

▲滿洲經濟時報（一月一日號）調查「滿洲產業の開發と國民經濟の大勢」「煙草の需給關係と其消費市場としての新京」資料「滿洲國の新年度豫算編成方針發表」ほか四項、時事「新年度より印花稅を改正」ほか五項等（新京中央通一二、日滿實業協會滿洲支部、十五錢）

▲新京（一月號）明朗丁大臣の一日その他寫眞を卷頭に滿水孫秉、田中頑茂、松本勇諸氏の年頭の感想、土建界座談會、美野瑞「討匪行雜感」特輯—萬聯當つたら、言ひたい放題の頁、色頁讀物數篇とりどりに百二十頁餘の大册、ただもつと實のある論文なども欲しい（新京祝町二ノ四新京社、三十錢）

須佐嘉橘氏著
「滿蒙に於ける元の二大史蹟」
向陽谷生

松花江の左岸地帶、郭爾羅斯後旗にある肇州城の址。もう一つは乃顏城址。—本書はこの二つの史蹟について、著者が多數の文獻を捗獵しての判斷と實地踏查の結果にもとづき興味深い記述をなしたものである。

×　×

肇州城は忽必烈帝が築造せしめたもの、東北の一大地域に政治的、軍事的施設をなした策源地であつた。帝は信頼せる一人を宣慰使に任命してこゝに特派駐屯せしめた。ただ其所在地が今まで不明とされてゐた。著者は元史等に據つてその遺址は必ず松花江畔にあるものとの信念をもつてゐた。それをはつきりと先年の探究の旅に於いて見出した。

城址は康熙帝の築造したる兵站道の一分岐線である。前の呼蘭街道、今の哈爾濱街道の第四站、乃ち布剌克站に近き西側の街道上、南側に殘存してゐる。

之を一周するに約八十分を要す。東西南北に各一門ありて其形は圓形で內側は廣々として門と門との間の壘壁上に副障臺とも名づくべきものが各八箇づゝありて大なり。（中略）壘壁に沿うて馬場ともいふべき廣場があつて、其下に深い塹濠があり、土城ではあるが見るからに珍らしい型であるそしてすべて築造された當時そのまゝが實に珍らしく認めらる。內部と塹濠の內は耕地となつてゐる。壘壁上に起ち眸を放てば、四望閑濶何んともいへぬ感想を沸起して快哉を叫ぶ。（六四頁）

現狀を示す多くの寫眞並びに地圖、見取圖等も挿入されてゐる。

×　×

乃顏城—それは外興安嶺以東の地域大半に亘つての領主乃顏王の遺址である。彼は一に遼王と稱された大領主であつて忽必烈帝とは祖先以來切つても切れない血族の間柄であるが西方阿爾泰地方を封土とした同宗族の海都王と提携して元朝の當主忽必烈帝に叛旗を飜へした。叛軍利あらず一敗地に塗れ乃顏王は身を亡ぼしたが忽必烈帝も豫期しない痛手を負ふた。

著者は史書により通肯河流地帶に名稱のはつきりせぬ古城址のあるのを知つてゐた。黑龍江圖志に通肯河流域の或る地點に乃顏城址と擧記してあるのを見た。その研究から持たれた信念によつて著者は馬を進め、海倫縣の西界を限る通肯河の流域地帶に慘たる形骸の址を留めてゐるのを見た。

一周約四十分ばかりを要する土城で、西から東に少しく斜面狀をなしてゐる。南と東に門があつたやうだが土民等に踏み蹂られて判明せず、內部は古城址にありがちの耕作地となつて、壘壁の西面が較々あきらかで約七、八尺の高さはあるが東面は低く、そして濕地に面してゐる。外城があつたかと思はれる疑あるも判然しない。（六〇頁）

×　×

以上は兩史蹟發見の事を中心に本書から若干を摘記したのみである。菊判六十五頁の本文中、歷史とその文獻について語られた部分は甚だ多い。研究家にとつてはもとより、一般にも極めて興深く讀まるべき新著である。著者はなほ「元の東方經營論」を用意しつゝあるやうである。その前哨として本書は輕視されぬ位置を占めるものであらう。紹介者は元史等について深くを知らないもの、不當の言は糾正を乞ふ。（發行所、東京神田　栗田書店　定價一圓）

懸賞

面白い組合せ遊び

下掲十六の廣告の左肩に正月に因んだ品が一ツづつ描いてあります

その何れかを二ツづゝ組合せると、例へば「竹に雀」「碁盤に碁石」………といふ風に一揃ひのものになります。八組全部を組合せ、左記規定により奮つて御解答下さい

規定

一、解答にはその品名の下に必ず其欄の商品名(又は商店名)を附記すること
二、用紙、官製ハガキ、一人一枚のこと
三、宛先　大阪市高麗橋五丁目　株式會社萬年社懸賞係
四、締切　一月十五日
五、抽籤　正解者多數の場合は抽籤により左記賞品を贈呈す
六、發表　一月三十日本紙上

賞品

一等　三木オルガン　一名
二等　ノーブル六倍　双眼鏡　二名
三等　シャープペンシル　十名

帝都進出に際し謹而御挨拶いたします

土地を如何にして融通に利用せんか實に國家的の重大問題であります、土地が容易に資金化されることになる途が拓かれますと事業界は素より地方農村の硬塞せる經濟は活路を見出す譯であります、私共は大阪を中心に其近郊一圓に亘り死藏の地を活用資金化し荒蕪地を貨殖の對照として着々之を商品化して大衆各位より絶讃の拍手を賜いて居ります今回東京に營業所を開設し全國的に土地の商品化を實現いたしたいと存じまして茲に理想の一端を御披露いたします。

土地を貨殖の對照とするには先づ融通性を與へ不動産觀念の打破と商品化の促進が第一要諦である斯くするためには大面積の土地を小面積に區劃し獨專死藏から大衆の手へ分讓することによつて都市近郊の將來性即ち發展可能の地區に住宅地、別莊地、温泉地帶、避暑避寒地、工業地等大衆の蝟集するやう開拓し自然增價と人爲殖値を計る。幸ひ今回稅制の改革によつて不動産登錄稅は低減されて來ので商品化へ拍車がかけられた譯である。

現在大阪方面に於ては二十萬坪、五十萬坪と言ふやうな大面積の地を僅々五日間一週間にて昨年十二ヶ所本年八ヶ所總坪七百萬坪の大分讓を敢行し其分讓地の殆どが地價昂騰し相當利潤を擧げて居りますことは西日本の方々の深く認識せられ、各新聞雜誌社諸君の健筆によつて汎く紹介されて居る處であります。

紀元二千六百年を期し東日本に進出飛躍の堅陣を展開する覺悟であります。

大阪 東京　大西土地拓殖株式會社

香味第一

キッコーマタ醬油

堺市　河又醬油株式會社

移轉御挨拶

謹啓　毎々格別の御引立を辱うし難有奉深謝候　陳者弊店雜貨部店舗狹隘の爲種々御不便相掛居候處舊臘十五日より左記假營業所に移轉致候間何卒不相變御愛顧の程偏に御依頼申上候　敬具

追伸　今後雜貨部宛の御通信等は凡て同所宛に願上候

假營業所　大阪市東區安土町四丁目二一七(心齋橋筋東入北側)　電話本町一二四九・一七五三

株式會社 丸紅商店本店 雜貨部

急性慢性胃腸病には

健胃固腸丸

御正月は兎角胃腸をこわし易い時です　ぜひ一罎御備へ下さい

本舗 大阪　合資會社 谷回春堂

三木ピアノ

三木オルガン

オルガン　二八円以上
小型ピアノ　百五〇円
竪型ピアノ　三五〇円以上
平台ピアノ　九五〇円以上
(カタログ贈呈)

發賣元　大阪開成館　三木樂器店
大阪市東區北久寶寺四・神戸元町三

證明書進呈

日本オゾン發生機

結核に清算來る

日本オゾン發生機の完成は、亡國病結核に清算の時代を招來し、絶滅を期してゐる。之を使用すれば執拗な結核熱や咳や痰が漸進的に解消し、安眠熟睡出來て翌朝心身が明朗爽快になる、よく空腹を覺えだし食慾は激増し身體も次第に肥滿し體重の増加を來す。且つ治療と同時に屋内を殺菌して家族傳染を豫防し一台を以て治療と豫防を兼備した一石二鳥の至寶である、然も一日の經費僅に電氣料一錢位で斯界の大家が賞讃してゐる。病者は本器によつて速く病魔を征服し活社會に雄飛せられよ。左記へ御申込あれば詳細な說明書が進呈される。御研究あれ。

大阪市北區中之島朝日ビル　製作元　日本オゾン合資會社

サクマ式ドロップス

タコタコあーがれ
サクマのタコあーがれ

一罐五錢のポケット用　バラ賣入各種

サクマ式チョコレート

"國內金融界の統一 御同慶に堪へぬ" 加藤總裁入京

鮮銀引揚げ挨拶のため

朝鮮銀行總裁加藤敬三郎氏は滿洲金融機構整備改革に依る州外に於ける在滿各支店の業務一切を滿洲興業銀行に引繼いだので在京各機關への挨拶のため八日午後三時着列車で平尾秘書を帶同、田中中銀、富田興銀各總裁、松原興銀副總裁ほか多數銀行關係者の多數出迎へを受けて來京、君臨二十數年に亙る滿洲經濟界の盛衰史上を彩る鮮銀劵の回收と云ふ一大エポックに當り、驛頭田中中銀總裁と劇的情景を演じて直ちにヤマトホテルに入つたが往訪の記者に左の如く語る

在滿朝鮮銀行も愈よ興業銀行に引繼がれたのでこの一大エポックに當在京各機關への挨拶のため來たのであるが、舊政權時代と

現在 の滿洲國經濟事情を想ひ泛べて轉た感慨無量のものがある鮮銀引上げ問題に關しては一昨年自分が來滿した際に端を發し一年間を經過して漸く政治的解決をみたわけで、從來の鮮銀の世帶は松原現興銀副總裁が知悉してゐるから今後もこの點に就いては都合よくスムースに行くものと確信してゐる、丁度一年かゝつて問題は無事落着した譯だが、滿洲國の金融界が統一を見て萬事御都合になる事は御同慶に堪えない、滿洲から手を引いた今後の鮮銀は專ら鮮內にその全力を注いで鮮內に於ける金融機構の統一を實現したいと思つてゐる、北支進出に關しては現地の情勢が未だその機運に達してゐない點が多々あるので暫く形勢をみてからにしたいと考へてゐるが、鮮內に於て殖產銀行、東拓との分野を判然として夫々その特殊使命に準據して

進み たいと思ふ、中銀との業務協定改訂問題は歸鮮後直ちに東京に赴き關係當局とも打合せて具體的に取決める筈である、從つて預金その他の問題もその際解決する筈である滿洲國內の鮮銀業務讓渡に依る鮮銀の利潤的打擊は輕微で配當に影響する如きは斷じて無いと思ふ

なほ同總裁は八日午後六時より在京各機關代表者をヤマトホテルに招じ盛大なる袂別の宴を張つたが、本日午前十時半宮廷府に於て皇帝に拜謁を給ひ正午ヤマトホテルに於ける中銀主催の歡迎宴に臨み、午後三時軍司令部に植田軍司令官を訪問して挨拶を述べ、同夜午後六時半より興銀主催の歡送宴に出席して十日午前五時四十分の飛行機で一路歸鮮する豫定である【寫眞は驛頭田中總裁と（左）握手を交す加藤總裁（右）】

輸送輕快、道路保護の 二大眼目に邁進

全滿荷馬車取締規定制定急ぐ

關東軍、滿鐵並びに滿洲國政府に於ては特產輸送其他物資の輸送に缺くべからざる荷馬車の構造、設備を全滿的に改良統一せしめることになりこれが研究機關として曩に右三者によつて滿蒙車輛研究委員會を組織し種々考究の結果、最終委員會に於て改良荷馬車の決定を見るとともにその標準規定を制定、右を各關係機關に通達した、滿洲に於る荷馬車の改良は十數年前より數次に亘り滿鐵で試みられ、種々の比較車輛を試作して其運行能率、或ひは現地適應性の可否等につき實用試驗及び學術的に牽引抵抗の比較試驗が行はれたが何れも各種の條件を充分滿足せしむることを得なかつたものである、民政部より同標準規定の示達を受けた首都警察廳では近くその施行に關し改良標準規定を基礎として取締規則の制定に着手する筈である、現在荷馬車の數は全滿を通じて約五十八萬八千餘台でこれ等は物資の輸送に缺くべからざる機關として國民經濟上最も重要な關係を有すがその構造は極めて原始的で道路を破壞すること甚だしく且つ輸送能力に於て遺憾の點多く、在來の荷馬車の不備不便を補ひ運輸能率の增進を圖り、國民一般の需要供給をより圓滑ならしめ國內產業開發、國民の經濟生活を向上せしめ、しかして道路の損傷を最少限にとめし改良、維持、修繕に要する國民負擔の輕減を圖らんとする大眼目からこれが改良が企圖されることになつたもので、首都警察廳の取締規定の母胎ともいふべき標準規定は大體次の通りである

一、一般機構は鋼鐵軸又は木軸の固定軸放射型車輪とすること

二、車體自重は三百瓩（約八十貫）內外を標準とすること

三、最大積載量は一噸を目標とすること

四、車輪直經は一、一〇〇粍とする

五、輪帶幅は七、五〇厘以上とすること

六、軸承部（轂）の長さ並鐵軸の場合は二一五粍、木軸の場合は二六〇粍とすること

七、軸臂（軸頭）の直經は鐵軸の場合は五〇粍圓柱型、木軸の場合は先端八五粍、根本一〇五粍の圓錐形とすること

八、兩輪中心間隔（轍間距離）一一二〇粍とすること

九、車輪の最大部の幅は一四五〇粍以下なること

以上の內一、二、三は運動性を輕快とするため、四、六、七は車輪の彼我流用を計るため、五、は道路保護のため、八、九は鐵道輸送の便を圖るためで本規定によれば在來の各荷馬車は容易に改造を施すことが出來るわけである、右荷馬車の全國的改良統一は治安の確保、產業の開發、文化の普及發達に偉大な効果を齎すものと期待されてゐる

伊藤公胸像設立の 第一回發起人會

愈よ具体案作成へ

東公園の整備問題と同時に同地が伊藤公駐泊の由緒ある史蹟たるに鑑みこれが記念のため同公の胸像設立の議がかねてから附屬地有力者間に行はれてゐたが、いよいよその機運熟しその第一回發起人打合會は八日午後五時半から公會堂食堂において田中卓二、佐藤精一、四戸友太郎、勘崎仙英、穴澤喜壯次、島名福十郎、石崎廣治郎等の諸氏參集の上開催せられ種々協議するところあつたが、滿鐵當局の意向も確かめたる後漸次具體案の作製にとりかゝることゝなり第一回は意見交換のみで同七時散會した

自轉車を盗む

東一條通り五二飲食仕出し魚竹で八日午後二時半頃裏庭に置いた自轉車一台が何者かに竊取されてゐることを知り東二條通り派出所にその旨願出て事情を申し立ててゐる最中派出所前を該自轉車に乘り祝町方面に行く少年を見付け警官と追跡とり押へたがこの少年は鐵道北にゐるニコリフウイスキー（十一）―假名―と云ひ上手な日本語で犯行を自白したがあとは泣くばかり係官を手古摺らしてゐる

煙草露天商に拳銃强盜

七日午後八時三十分ごろ京吉國道大馬路門牌三十一號煙草露天商白玉俊（三十六）方の表戸をこぢ開けてあさぎ木綿で覆面した拳銃强盜が侵入、行商から歸つたばかりの白に無言のまゝ拳銃をつきつけて强迫女用外套、薄團二枚を所持した大風呂敷に包みあり金二圓餘を强奪して表口から逃走した、南關署並びに首都警察では犯人を被害者の知人と見て嚴索中

富士町のボヤ

八日午後二時三十五分富士町三丁目二十二八千代館ボーイ李義增（三十五）方から出火したが早速驅け付けた消防隊の活動で同人の部屋一つを燒いて鎮火したが原因はストーブの不始末からである

土建界に恐慌來

全滿業者間に連携の要望切！

新京建材商組合て臨時總會開催

滿洲景氣は土建からと稱される事程左樣に滿洲景氣を牛耳つてゐた土建界の一段落は漸く一般經濟界にも芳しからぬ影響を與へて夫々對策に惱まされてゐるが、たまたま大連に本社を有する請負業某組が、この二、三年來の無理が重なり昨年末破綻を示した結果、土建業と最も密接な關係を有する建材商は非常な恐慌に襲はれ業者の全滿的の連絡統一を計る可き機關の設立機運が釀されてゐる、即ち新京建材商組合では大連建材商組合の要望により前記某組の債權者會議が來る二十日大連にて開催せられるに際し代表者出席のため十日午後四時から公會堂にて臨時總會を開催するが、それと同時に現在組合の組織せられてゐない奉天、哈爾濱、齊々哈爾等の業者にも呼びかけ組合設立後それらを打つて一丸とする聯合會等を組織し、相互に緊密な連絡による自衞策をとることゝなつた

全滿都市對抗氷上大會

二月十四日西公園リンク開催

滿洲氷上競技聯盟新京體育聯盟滿鐵運動會新京支部主催の第三回全滿都市對抗氷上競技大會は二月十四日新京西公園リンクで開催されるが競技種目は ▲スピード（男女）▲フイギュアー（男女）▲ホッケー 等で參加都市は旅順、大連、安東、奉天、撫順、ハルビン、新京の八都市である、なほ主催側では八日各參加都市に對し招待狀を發した

八島校の學藝會

八島小學校學藝大會は八日午後一時から開かれた、なほ九日午後一時からは第七小學校へ轉出兒童の分離式、同三十分から同校創立二周年記年式が催され父兄のために學藝會が開かれる【寫眞はきのふの學藝大會】

梅ケ枝町火災に 同情金寄附

八日午後一青年が新京署に至り本紙八日付朝刊梅ケ枝町火災の記事の切り拔きと一緒に金五圓を出し「小使を貯金した金です、同情に堪えんから氣の毒な罹災者に上げて下さい」と置いて立ち去つたが封筒には裏辰夫とあるのみで住所判明せぬが奇特な青年である

石川縣人會

石川縣人會では來る十六日午後六時より富士町千鳥に於て定期總會を兼ね懇親會を開催する、出席希望者は至急祝町三丁目泰正號電三―二六四四へ申込まれ度し

大陸を舞台とせる 國際スパイ戰（二）

組織化されてゆくスパイ網

神出鬼沒！ スパイは躍る

世界大戰の直前、オーストリア軍の動員計畫がロシアのスパイによつて暴露されたことがあつた、いはゆるレッドル大佐事件である、このためオーストリア軍部は異常な衝動を受け、たゞちに動員計畫を變更せねばならなかつた、また大戰中屢々繰返された聯合軍の總攻擊計畫はいづれも事前に獨墺軍に知れわたつてゐたといはれてゐる、戰爭の裏面においてスパイはまことに神出鬼沒の活躍を續けるのだ、

また最近のこと英國海軍が極秘にしてゐた乘組員のゐない船を遠くから操縱する方向無線電信器の機密設計圖が某國のスパイによつて竊取され英海軍部內を愕然たらしめた事件があつた、いつたい世界列强の軍部はいづれも一朝有事に間に合ふやうにそれぞれの暗號や陸海軍および產業の動員計畫等を樹立してゐて、絕對外部に漏洩しないやうに金庫の中に仕舞ひ込んでおくのである、ところがいつの間にかその機密の內容が敵國軍部の手に入つてゐるといふやうな例は從來とも屢々あつたのだ、さてスパイの役割はこれ等軍部の機密を探るとか戰線における敵國の軍事行動を諜報するとかに限られたものではない、歐洲大戰は近代戰史上經濟的攻擊がはじめて重大な役割を演じた戰爭であつたドイツが敗北したのは聯合國のため經濟封鎖された結果、軍需品はともかく一般國民の食糧品が缺乏したことが最大の理由として擧げられてゐる將來戰爭は前線における科學兵器の優劣を爭ふのみならずはるかに遠く敵國の政治的、產業的核心に向つて攻擊を集中するのだ、經濟封鎖は勿論のこと、敵機の空爆と呼應してスパイは軍需工場のサボタージュや通貨や國債や證券類を僞造して財界を攪亂したり或は新聞、ラヂオ等を利用したプロパガンダによつて交戰國の士氣を沮喪せしめるとか凡そ常人の想像もつかないありとあらゆる奸策を弄して執拗にかつ大膽に挑戰して來るのだ、かうして前線における空陸の全面的攻擊と相俟つて敵國內の輸送系統や動員組織を破壞すれば勝敗はすでに決したも同樣である、恐らく次の戰爭ではこれらスパイの活動はスパイの網の統率者が押す机上のボタン一つで俄然機械の如く迅速かつ精巧に遂行されるであらう、戰爭の方法が科學的になるに從つてスパイ戰術も益々組織化され種々雜多な新戰術を案出してゆくのだ、スパイの合圖等もけふは赤外線だとか紫外線だとのと使用される、例へば夜間で度飛行で敵地を空襲する飛行機に對して地上に潛在するスパイは紫外線ランプを通じて容易に信號を送り得るのである、また相手國の暗號、秘電に對しても如何に各國があらゆる科學と智能を傾倒して解讀に努めるか、かのヤードリの「米國の機密室」ブラックチエンバー―はこの間の經緯を如實に暴露してゐるのである、かうしたスパイの暗躍に對して、各國ともあらゆる防備の手段を講じてゐる事勿論である、現在世界を通じて少くとも二十ヶ國は近代的なスパイ組織を有してゐるといはれてゐる、これら諸國のうちでもその國の政治的勢力の核心に、秘密探偵がもつとも重大な部分を占めてゐるのはソヴイエトロシアのゲペウと南京政府の藍衣社であらう

魔都上海 ヌーラン事件

今日われわれの眼の前で、滿洲國の攪亂や北支自治政權の顚覆を目論む藍衣社員の飽くなきテロ行爲は頻々と繰返されてゐる、また一方には、日支開戰を策動したり、日支外交を防害しようとする英、米ソ各國のスパイが暗躍して百鬼夜行の觀がある、これらスパイの活動は暴徒の使嗾や工場のサボタージュやプロパガンダ等々となつて生々しく現實に展開してゐるのだ

そしてこれら極東を舞臺とせるスパイの本據はいふまでもなく魔都上海である、惡の華咲く自由都市に各國のスパイは白晝公然と横行濶歩するのだ、そこでは曾つて名だゝるスパイが擧げられた例しがない、危險が迫れば彼等は忽ち租界の中へ消えて行くのだ、しかしヌーラン事件だけは異例で、これは珍らしくも平素無能な支那官憲の手に凱歌が擧つた一九三二年の二月香港で羅紗行商人に紛裝したソヴエイトのスパイが不覺にも支那官憲の手に逮捕された、彼のポケットからは某國の飛行場設計圖や、要塞の見取圖やたあいもない暗號帳などが發見されて、この男が職業スパイであることが判明した、たゞそれだけでは何事も無かつたのであるが、こゝに端なくもこの男の口から上海を根城とする怪ロシア人ヌーラン夫妻の、恐るべき極東赤化の陰謀が暴露されたのであつた、その頃蔣介石政府は瑞金を中心として四川省一帶にわたる賀龍、蕭克等の共產軍の跳梁に惱まされ、しかも赤化の魔手はお膝元の南京にまで伸びてほとほと手を燒いてゐたのであつた、事件の通牒を手入した南京當局者が雀躍して喜んだのはいふまでもない、時を移さずしてヌーランの本據は襲擊され、不意を喰つて流石の怪人物ヌーラン夫妻も難なく支那官憲の手に捕縛されたのであつた、續いて家宅搜索が行はれ、彼の腹臣の部下達も一網打盡に檢擧された、そして南京政府要人の暗殺や灣港の破壞計畫等彼等一味の戰慄的な赤化陰謀の全貌が白日下に暴露された、罪狀は極めて明白であつた、南京政府は斷乎ヌーラン夫妻に終身禁錮の刑を課したのであつた

この事件は內外に異常なセンセーションを捲き起した、取調の結果幾人かの日本人名簿も現はれて日本共產黨への反響も大きかつた、元來ヌーランといふ男は第三インターの極東局代表として怪腕を振つてゐたものだ、各國のパスポートを僞造して各地に出沒し容易に正體を顯はさなかつたのである、彼は上海碼頭に貿易商として堂々たる事務所と倉庫を所有し、またヌーン・ストリートの北四川路には各種の商店を經營してゐた、無論之等が巧妙極まる彼等の陰謀の策源地として利用されてゐたのである

滿鐵社員會評議員 當選者決定

滿鐵社員會新京聯合會評議員の選擧は八日執行されたが開票の結果左の諸氏が當選した

▲桝田善宗（五六票）▲本島邦男（五六票）▲高山八十八（四八票）▲中崎一之（四四票）▲宮本傳吉（四二票）▲岡田三郎（三八票）

お目出度二つ

市內三笠町一丁目十二番地野中方杉野憲一氏（二八）は特別市興安胡同二百十三號油川勇氏方金子しづ江孃（二三）との間に蓮尾誌藏氏夫妻の媒酌で婚約整ひ十日午前十一時から新京神社で華燭の典をあげる▼同日午後一時から老松町四番地神谷五郎氏（二八）と大和通り五十九番地山縣笑子孃（二一）との結婚式が新京神社であげられる、媒酌人は入船町二丁目五番地西本義雄氏である

日本少女歌劇 陸軍病院慰問

記念公會堂において開演中であつた、日本少女歌劇團では八日正午より陸軍病院において傷病兵の慰問公演を行つた

加藤金保氏設宴

新京地方委員加藤金保氏は雜誌發刊と新年宴を兼ね七日午後六時より賓宴樓に於て日頃懇意なる地元新聞社記者を招待小宴を張つたと……

フロレンソーダ

新京神社の主、植利神職の川柳、狂歌を好むこと知る人ぞ知る、御自分でもチト鼻にしてござる▲丁丑元旦に早速一句ものにした川柳が『一時間早くついたぞ滿洲牛』▲明けて四十歳の春を迎へて狂歌一句『また一つ年は寄るとも玉手箱あけて今年は四十八ッ春』

今般新京に只だ一つ而も初めて關東軍の御推薦を頂き首都警察總監の認可「首警保指令二七八三號」に依て新京荷馬車營業組合が組織せられました而して此組合は凡て首都警察總監の指揮命令によつて仕事をなすものであつて首都警察廳管內各都市各鄕村に居住する荷馬車營業者を以て組織し其各々が互に相協和し且つ其仕事の上に於ても絕へず組合員同志の利益や便利を圖るのみならず事實上に於て眞の家族的組合を造ると云ふのが目的であります

就ては康德四年の新春より此組合の事務所を左記に開設致しまして其處には滿日人十數名の役員が常に其等專門の仕事をして居ります

何卒此際速に組合の一員となつて一日一刻も早く組合員の利益と權利を得られん事を切に希望する次第であります

康德四年一月四日

新京西三馬路第二號 電話二―二四三六番

新京荷馬車營業組合

組合長 孫振芳

副組合長兼理事長 秋山茂樹

妖魔往來

（禁上映上演） 桃川燕二演 内山鉦太郎畫

一五〇

「オイ定さん、下手の考へ休むに似たりだ、早く打ちなさい」

「せくな、せくな、せいては事を仕損じる。まだ一目のところが見當らない」

町役人共は碁將棋に無中でございます。彼れこれしてゐる内に其碁は木で鼻をくゝつた先生、遂に大石を殺して敗北に終つた。いかにも殘念さうに盤面をにらんで石を片つけ始めた。

「アハヽヽ何うも然は駄目だつたな、アア大石を殺すなどゝは話らぬ話、生きてゐるものを殺す是は町役人などに有勝で、罪なきものを科人扱ひにするのと同じだあはゝゝゝ。」

大聲をはなつて笑ひました。何事によらず人に笑はれるといふものは余り心持のよいものではありません、殊に負腹の立つてゐる時だから余計に、むかつく。

「何を笑ひやがるのだ、罪なき者を科人扱ひにするなどゝ眠に皮肉な事を抜しやがる。幾らなんでも此の大石が生てたまるもんか」

「イヤ然う怒るな、正に生きる――生るから生ると申したのだ」

「ナニ生きるものか、生きるなら打つて見ろ。」

「生るには違ひないが、打手は斯う縛られてゐる。繩を解いてくれたら打つて見せる。」

「何繩を解け、夫は駄目だ、八州の宮部樣が打たした繩だから俺の自由に行かない。」

「破牢解く譯にはならないかも知れぬが、手先きを自由に使ふ丈なら差支へはあるまい、身共も武士だ、生きた石だと高言した以上は生かして見せねば一分が立たない、手先の動くだけにして見れ」

「醫師さん何うだらう。繩をといてしまつたのでは申譯がないが、手先の動くだけの事は飯を食ふにしろ、便所へ行くにしろ誰でも緩めてやる事だよからうぢやないか。」

「夫りや、手先の利くだけの事ならかまはない、宮部樣がお咎めになつたら今便所へ行く處だとか飯を食はせるところだとか云へばなんでもない。」

「然うだ、オイ／＼浪人手が動くやうにしてやる。打つて見な」

一立ち掛つてきて後手を前に廻し腕のところをしめて縛び直した。

「まだ／＼いけない。そんなにこの腕をしめられては、打つ事が出きない。是では碁盤を横にたてゝ置かなくては駄目だらう。」

「碁盤を横にすれば石は持てはしない最う少し緩めるかな。これでは如何だ」

「まだ／＼」

「是では」

「まだ／＼」

「まだ／＼」幾ら緩めてもまだ／＼で押通し遂にこの腕が自由に動く位に迄緩めさせてしまつた。八郎心中に喜んだ、今は白晝時刻が悪いが、夜分になれば直に逃げだしてやる、なにしろ役人共に充分氣を許させなくてはならぬ、と是から碁盤を自分の前にもつてこさせ一旦崩れた石を元通りに並べて見せた。

なにしろ定吉親分が宿役人の頭立つた者で其他の人々は聰明だとか、賢あきだとか下を働く者共が大勢分の定吉親分の方が、斯ういふ事をしたのだから、一同其處へ集まつて見物をする。定吉親分も八郎のこの碁石を並べ直したことに一驚を喫したと云ふのは素人でさへどういふ順序で打つたのか覺えがない下手碁は猶更でなすかはりに、一度打つた碁を偏へ消すと云ふ事は出來ぬものでございます

夫れを見てゐた八郎がパチ／＼と忽ち元通りに並べて見せた、其手際だけは碁の大先生と思はせたのでございます